

第九十回帝國議會 會計法戰時特例廢止等に関する法律案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
政府出資特別會計法外二十一法令の
廢止等に関する法律案(政府提出)

昭和二十一年七月二十四日(水曜日)午
前十時五十六分開議

出席委員

委員長 坂東幸太郎君

委員 青木 孝義君 理事青木清左門君

田中 實司君 江部 順治君

太田秋之助君 新妻 イト君

吉川 榮光君 松本 瀧藏君

竹谷源太郎君

出席政府委員

復興事務官 荒尾 興功君

大藏事務官 上塚 司君

大蔵事務官 野田 卯一君

大蔵事務官 江澤 省三君

大蔵事務官 加藤 八郎君

大蔵事務官 石原 周夫君

司法事務官 中村 又一君

農林事務官 石川 準吉君

運輸事務官 伊能繁次郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席者

内務事務官 溝淵 増巳君

逓信事務官 白根 玉喜君

本日ノ會議ニ付シテ議案

政府出資特別會計法外二十一法令の
廢止等に関する法律案(政府提出)

○坂東委員長 是ヨリ會計法戰時特例
ノ廢止等ニ關スル法律案外一件ノ委員
會ヲ開會致シマス、本日ノ日程ハ政府
出資特別會計法外二十一法令の廢止等
ニ關する法律案アリマス、内容ハ廣
汎デアリマスガ、議案全部ヲ議題ニ供

シマス——新妻イト君
○新妻委員 私ハ今日「ブリント」ヲ戴
キマシタノデ、マダ其ノ内容ガ能ク分
ツテ居リマセヌノデ、前ニ御聴キンタ
イト思ヒマシタコトダケヲ一寸御伺ヒ
シタイト思ヒマス、是ハ在外資金ノコ
トデゴザイマスケレドモ、此ノ處理方
法ガドウ云フ風ニナルノカト云フコト
ヲ、先ヅ一ツ伺ヒタイト思フノデゴザ
イマス、ソレカラ例ヘバ在外資金ガ賠
償金トシテ充テラレル場合ニハ、動勞
貯蓄ト申シマスガ、零細ナ積立金ガ其
ノ中ニモ含マレテ居ルノデハナイカト
思ヒマス、勿論合マレテ居ルと思フノ
デアリマスガ、御承知ノヤウニ、今コ
チラニ引揚ゲテ居リマス海外ノ同胞ノ
悲慘ナ狀態ヲ見マシテモ、在外資金ガ
其ノ儘ニ打切ラレテハ非常ニ氣ノ毒ナ
コトダト私ハ思ハレルノデアリマス、
ソコデ此ノ人達ニモ、其ノ金ガ其ノ儘
ニ凍結サレテ向フニ行ツテシマフノ
カ、或ハ又賠償金トシテ其ノ儘拂ハレ
テシマフモノカ、ソレカラ政府デハ其
ノ人達ニ對シテ、ソレラドウ云フ風ニ
ナサル御執リカト云フコトモ、伺ヒタ
イノデゴザイマス

ソレカラ朝鮮ノ簡易保險等ニ付テゴ
ザイマスケレドモ、簡易保險トカ年金
保險トカ云フモノハ、オ金持ノ方ガナ
サルヨリモ、割合ニ庶民階級ノ人ガ多
ク積立テラレテアルト思フノデアリマ
スケレドモ、ソレニ對シテドウ云フ御
處置ヲナサイマスモノカ、ソレヲ伺ハ
シテ戴キタイト思フノデゴザイマス
ソレカラモウ一ツ、是ハ此ノ中ノド

レニ入リマスガ、マダ私研究シテゴザ
イマセヌノデ分リマセヌケレドモ、戰
時中主ニ海軍ダツタト思フノデアリマ
スケレドモ、白金ダノ「ダイヤ」ヲ買上ゲ
テアル、ソレガ未ダニ使ハレナイ部分
ガ大分アルト云フコトヲ承知シテ居
ツタノデアリマスケレドモ、其ノ現物
ガ今ドウナツテ居ルカ、斯ウ云フモノ
ハ賠償ノ爲ニ取上ゲラレルモノカドウ
カト云フコトデゴザイマス、勿論一般
ノ者ハソレヲ賣ツテシマツタノデアリ
マスカラ、何デモナイコトデハアリマ
スケレドモ、ソレガ再びオ役ニ立ツナ
ラバ私共大變喜バシイコトデアリマス
ガ、其ノ金額ガ何處ニ入ツテ、ドウ云
フ風ニ使ハレルカト云フコトモ、私共
知ツテ置キタイコトダト思ヒマス、コ
ナナ大變取留メナイコトデアリマス
ガ、一ツ伺ハサシテ戴キマス

○野田政府委員 御尋ネノ三點ニ付キ
マシテ簡單ニ御答ヘ致シマス、第一ノ
在外財産ガドウナルカト云フ點デアリ
マスガ、在外財産ハ原則トシテ賠償ニ
充當サレルコトニナツテ居リマス、其
ノ賠償ニ充當サレル方ニ付キマシテハ色
色ナ問題ガアリマス、例ヘバ在外財産
ノ中ニ於キマシテモ、工場トカ、鑛山
トカ、波止場トカ、船トカ云フヤウナ
有形物モアリマスレバ、ソレカラ債權
關係ノモノモゴザイマス、ソレノ處理
ハ債權關係カラ見マスト貸シテ居ルモ
ノ、或ハ債務者、ソレガ日本人デア
ル場合モアルシ、或ハ外國人デア
ル場合モアル、色々錯雜シタ關係ニナツテ居
リマスガ、原則トシテ在外財産ハ賠償

ニ充當スルト云フコトニナツテ居リマ
ス、細カイ點ハ今ノ所マダハツキリシ
テ居リマセヌ
ソレカラ今預金ノ御話ヲ主トシテ御
話シニナツタノデアリマスガ、マア支
那其ノ他ニ於キマシテ相當ノ預金ヲ持
ツテ居ラレ、ソレガ歸ツテ來ラレテド
ウニモナラヌト云フノデ、窮情ニ陥ツ
テ居ラレル事情ハ兼ネ、承ツテ居リ
マス、ソレヲ内地デ拂戻ガ出來ヌカト
云フヤウナ御要求モアルノデアリマス
ガ、只今ノ所ハ外國ニ於キマスル財產
ヲ内地ニ於テ處分スル、或ハソレヲ取
得スルト云フコトハ一種ノ爲替行為ニ
ナリマス、爲替關係ノ行為ハ盡ク司令
部ノ承認ヲ得ナクハナラヌト云フコ
トニナツテ居リマシテ、現在ノ所ハ、
普通ノ銀行預金等ニ致シマシテモ、其
ノ内地ニ於ケル處分ハ許サレナイト云
フヤウナ實情ニナツテ居リマス、併シ
ナガラ、御承知ノ如ク海外ニ於キマス
ル預金ニ付キマシテモ、朝鮮邊リノ郵
便貯金、尙ホ其ノ他ノ所デモ、政府ノ
郵便貯金等ニ付キマシテハ、内地デ其
ノ支拂ヒヲ認メル、斯ウ云フ方針ニナ
ツテ居リマス
ソレカラ在外財産ガ全面的ニ賠償ニ
充當サレヤウナ場合ニ、細カイ財產
ヲ持ツテ居ル人ニ對シテドウ云フ待遇
ヲスルカト云フヤウナ問題デアリマス
ガ、一般的ニ見マシテ、在外財産ノ沒
收ト申シマスヨリハ、寧ろ賠償充當デ
アリマスガ、其ノ際ニ於テ、被害者ト
申シマスガ、其ノ影響ヲ被ル人ニ對ス
ル日本政府ノ救済策ト申シマスガ、補

便貯金ト似テ居リマスノデ、多少一般ノ預金ヨリハ有利ノ取扱ガ出來ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

ソレカラ第三點ノ、戰爭中陸軍ト海軍方面ニ於キマシテ買上ゲタ白金トカ「ダイヤモンド」ガドウナツテ居ルカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ大體ニ於キマシテ現在ハ進駐軍ノ管理下ニアリマス、進駐軍ガ全部詳細シク調べマシテ、之ヲ一箇所或ハ數箇所ニ集メマシテ、先方ガ嚴重ニ之ヲ保管ヲ致シテ居リマスノデ、之ヲ御返シマスルコト云フコトハ、只今ノ所ハ一寸望ミガゴザイマセヌ、寧ろ先方ハ之ヲ以テ賠償ニ充當スルカノヤウナ氣持ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスノデ、一寸今ノ所ハソレヲ展シテ賣ツテ、之ノ所有者ニ御返シマスルコト云フ望ミハ、先ッ薄イト斯ウ云フ風ノ見込ヲ持ツテ居リマス

○新委員 今ノ朝鮮ノ簡易保險ヤ郵便年金ノコトハ能ク分リマシタガ、其ノ金ガ内地ノ方ニ入ツテ居ル關係上、是モ支拂ガ出來ルカモ知レナイト云フコトデ、大變ニ明リ氣持ニナレルノデアリマスガ、ソレト同時ニ、之ヲヤハリ繼續シテ掛金ヲ掛ケテ行クコトガ出來ルノデアリマセウカ、ソレモ併セテ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○野田政府委員 只今ノ問題ニ付キマシテハ、私カラ御答ヘスルヨリ、寧ろ通信省ノ方カラ御答ヘニナツタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、向フデ掛ケテ居タモノヲ、内地ヘ持ツテ來マシテ引續イテ掛ケ得ルカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、其ノ元ノ權利ヲ日本側デ認めルカドウカト云フヤウナ點ガマダ未定デゴザイマスノデ、隨テ只今ノ所ハハツキリ申上ゲ兼ネルト云フコトデゴザイマス

ソレカラ尙ホ私ガ先程申上ゲタコトガ、餘リニ樂觀的ニ取ラレルト、若シ誤解ヲ來ストイケマセヌノデ補足シテ置キマスガ、其ノ會計ノ内譯ト申シマスカ、關東州トカ、臺灣トカ、朝鮮トカ色々ナ所ニサウ云フ制度ガアリマス、サウ云フ制度ト内地ノ制度トノ繋ガリガ地域ニ依ツテ違ツテ居リマス、厚澤ガアリマス、ソレデ臺灣、關東州ノ方ガ内地トノ繋ガリガ濃イデアリマス、朝鮮ノ方ハ薄イデアリマス、厚澤ガアツテ色々取扱ガ違ツテ居リマスノデ、今後假ニ斟酌ガ加ヘラレルト致シマシテモ、其ノ間ニ色々ノ問題ガアルデラウト云フヤウナ點ヲ一ツ補足シテ置キマスカラ、御承知ヲ願ヒマス

○新委員 是ハ一ツノ實例デゴザイマスケレドモ、上海デ起ツタ私闘イデ居リマス、終戰間際デ私闘イデ居ル組ヘ通シテ、内地デ三萬圓取レルヤウノ相場デ千八百圓トカ掛ケテ、内地デ三萬圓トカ取レルヤウニナルトカ云フヤウナコトヲ大使館ノ方ガ激勵ナスツテ、送ツタト云フ事實ヲ私闘イテ來タノデアリマスケレドモ、ソレガコチラニ著イテ居レバ内地ノ會計ノ中ニ入ツタンデセウシ、著イテ居ナケレバ勿論ソレハ向フデ沒收ノ形ニナルノデハナイカト思ヒマス、是モ内地ヘ來テカラ三萬圓ノ金ガ欲シイト云フ氣持デ、借金シテマデモソレニ掛金ヲ掛ケテ、コツチデ借金デガ負擔ニナツテ居ルト云フ、實際引揚者ノ困ツタ話ヲ耳ニシテ參ツタノデゴザイマスケレドモ、サウ云フ事實ハ各地ニモアツタノデハナイカト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマス、是ハ外務省ノ方ガ獨

斷デオヤリニナリマシタノカ、或ハ又内地ノ方カラ、オ金ヲ多少デモ引揚ゲル爲ニオヤリニナリマシタノカ、其ノ邊ハ私共分リマセヌカラ同ハサシテ戴キタイノデゴザイマスケレドモ、兎モ角下ノ方ノ人達ガ借金シテモソレデケノコトヲシナケレバナラナカッタト云フ點ハ、ヤハリコチラヘ來テ非常ニ困ルデラウト云フ點ニアアルノデ、總テ先程ノ貯金ニ致シマシテモ、斯ウ云フ金ニ致シマシテモ、幾分カデモ外地引揚者ノ爲ニ有利ニシテ差上ゲタイノデ、モウ一ツ此ノコトヲ御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○野田政府委員 只今上海ノオ話デアリマスガ、私上海ノ事實ハ的確ニ存ジテ居リマスガ、ソレト同ジヤウナコトガ、支那ノ各地デ行ハレタトカ聞イテ居リマス、北支カラ歸ツテ來タ者アタリモ、サウ云フ問題ヲ持ツテ來テ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテハ、終戰ノ前後ニデシタカ、終戰ノ當時ニ行ハレタノデアリマシテ、金ハコチラノ方ニ著イテ居リマセヌ、通知モ大體途中デ何處カ紛失シタノカ、コチラニ著イテ居ナイノデアリマス、隨テ其ノ關係ガ今ノ所ハドウモ明瞭ニナツテ居ナイノデアリマス、今後トモ明瞭ニナツテ居ナイノ後ノ問題ニ殘サレテ居ルト思ヒマス

○坂東委員長 一寸關聯シテ伺ヒシマスガ、終戰前ニ北支ノ正金銀行ノ支店デ爲替ヲ組ンデ歸ツタラ、コチラデ取レナイト云フノデアリマスガ、ソレハドウ云フコトニナリマスカ

○野田政府委員 終戰後ノ何時頃デゴザイマスガ、終戰後ハヤハリ、九月ノ半バ過ぎマデニ向フカラ内地ヘ著イタ爲替、サウ云フモノニ付テハ一部分支拂ヒヲ認メラレルトコトニナツテ居リマス

ガ、ソレ以外ニ付キマシテハ、先程申シマシタ爲替行爲ノ全般取締ト云フ關係カラ、非常ニ嚴重ナ制限ガ付ケラレテ居リマシテ、支拂ヒガ出來ナイト云フ場合ガ多イ、ソレニ該當シテ居ルノデハナイカト存ジマス

○坂東委員長 青木清左エ門君、何カアリマスカ

○青木(清)委員 封鎖預金ノ解除或ハ引出シノ問題デアリマスガ

(委員長 退席青木(孝)委員長代理著席)

政治家ニハ政治資金ト云フモノガ必要デアリマス、一般ノ生活資金ニ付テハ拂出ヲ認メラレテ居ルガ、我々ハ有權者ニ對シテ挨拶狀ヲ出ス、或ハ議會報告ノ演說會ヲヤルト云フヤウナコト、或ハ次ノ選舉ニ備ヘル色々ナ伏線ノ政治活動ヤル、又我々ノ主張スル政治ノ部面ヲ一般ノニ感知セシメル、凡ニル施設ヲ行フト云フヤウナ場合ニ、封鎖預金ノ封鎖支拂ヒ及ビ新圓ノ獲得ト云フモノガ必要ニナツテ來ルノデアリマスガ、政治家ニ對スルソレ等ノ途方開カレテ居ルカドウカ、又開ク御意思ガアルカドウカ、ソレヲ御聽キシタイト思ヒマス

○野田政府委員 只今ノ封鎖預金ヲ、政治活動ノ爲ニ封鎖ヲ緩和スルカドウカ、此ノ點ハ私カラ御答ヘスルヨリ、銀行局長ガ御答ヘシタ方ガ宜イト思ヒマスノデ、今呼ビニヤツテ居リマス

○江部委員 戰爭中内地其ノ他ニゴザイマシタ敵產ノ管理ハ、終戰後如何ナル措置ヲナサツテ居リマスカ、又此ノ會計法ノ如何ナル所ニ現ハレテ居リマスカ、尙ホ戰爭中内地カラ獻納ト云フカ、沒收サレマシタ刀劍ノ處置ハ如何ニナツテ居リマスカ

○野田政府委員 只今御質問ノ敵產ノ管理デゴザイマスガ、是ハ敵產管理法ニ依ツテ、戰爭中敵產ヲ管理シテ參ツタノデアリマスガ、終戰後ニ於キマシテモ依然トシテ向フカラ受取人ガ現ハレテ來ルマデハ、從來ノ管理人ガ管理シテ居リマス、最近ボツ／＼所有者ガ歸ツテ參リマシテ、ソレノ返還ヲ求メル、或ハ現状回復ヲ求メルト云フヤウナ問題ガゴザイマスノデ、ソレニ付テハ司令部當局ト能ク打合セマシテ、ソレ／＼ノ事態ニ即シテ處置シテ居リマス、ソレカラ刀劍ノ問題、是ハ大體内務省デ取扱ツテ居リマスノデ、又後ノ機會ニ内務省カラ御答ヘ致シマス

○青木(清)委員 新聞ノ分布狀況ニ付テ調査シタモノハアリマセヌカ、又其ノ分布狀況ニ付テ、職業別トカ、或ハ方面別トカ、或ハ民族別トカ云フヤウナモノガ、推定デモ結構デアリマスガ、大體ドウ云フコトニナツテ居リマスカ、御調査ニナツタモノハアリマセヌカ

○野田政府委員 只今ノ新聞ノ分布狀況ノ、色々ナ角度カラ見タ資料デゴザイマスガ、是ハ銀行局ト日本銀行デ協力シテ、或ハ程度ノ推定シタモノガ出來テ居ルト思ヒマスガ、是亦後デ銀行局長ガ參リマシタ時ニ御答ヘ致シマス

○青木(孝)委員長代理 青木サン、通信省關係ノ説明員ノ方ガ御見エニナツテ居リマス

○青木(清)委員 大體本委員會ニ提出サレマシタ幾ツカノ廢案ガアリマスガ、是等ハ總テ戰爭繼續中ノ凡ニル財政部面ノ、戰爭中止ニ伴フ處置デアリマス、是等ヲ審議スルニ於テハ、ドウシテモ終戰時ノ混亂、是ハ經濟上、行政上凡ニル部面ニ互ルノデアリマス

ガ、其ノ終戦時ノ混亂、ソレガ尙ホ繼
續サレテ居ル社會情勢ノ不安ト云フモ
ノノ内容ヲ、或ル程度檢討シテ見タイ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ
關スル質問ノ一環ト致シマシテ、今選
信省關係ノ方ガ来ラレルヤウデアリマ
スカラ、選信省關係ノ事項ニ付テ御伺
ヒ致シタイと思フデアリマス、私ノ
考ヘテ居リマスコトハ、現在ノ社會情
勢ノ不安ト云フモノハ、勿論經濟的ニ
モ不安ヲ醸成スル原因ガアリマスガ、
併シ現在ノ日本ノ行政ガ、國民ノ意ニ
滿タナイヤウナ混亂ヲ來シテ居ル點ガ
多クアル、選信部面カラ見マシテモ、
連達郵便ノ遲配、或ハ各種郵便物ノ遲
配及ビ不著、小包郵便物ノ取扱リト云
フヤウナ、凡ユル問題ガ錯綜シタ所
ニ、國民ガ日本ノ政治力ト云フモノニ
對スル一ツノ疑念ト、不信用ヲ持ツテ
居ルト思フデアリマス、隨テ選信方
面ニ於テマシテハ、現在ニ等ノ混亂
ガ、戰爭後尙ホ持續サレテ居リ、寧ロ
戰爭後ノ混亂以上ノモノガ現在アリ、
今後益々此ノ混亂ハ擴大サレテ行クノ
デハナイカト云フ疑ヒヲ我々ハ持ツ
デアリマス、竊ニ郵便料ノ値上等ニ關
シテ、本院トシテハ協賛ヲ與ヘタノデ
アリマスガ、是ガ單ナル従業員ノ待
遇ノ向上ト云フ點ニミシ消化サレテ、
郵便事務ノ本質的改善ト云フモノニ對
シテ、振向ケラレナイト云フコトニ相
成リマスレ、我々衆議院ノ意思ト云
フモノハ沒却リル譯デアルト思フ、
ソレニ付テ現在ドウ云フコトニナツテ
居ルカ、又今後ドウ云フ處置ヲ執ラン
トスルカ、一ツ御詳明ガ願ヒタイノデ
アリマス

マシテ弛緩ガアリ、世ノ要望ニ副ハナ
イ點ガアツテ、是ガ現在立チ直ラント
スル日本ノ態勢カラ見マシテ、非常ニ
痛ニナツテ居ルノデハナイカト云フ御
話デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ
ハ、郵便料金値上ノ際ニ於テキマシテ
モ、或ハ事ニ觸レ院內ノ皆様方カラモ
御叱リヲ蒙リ、院外ニ於テキマシテモ各
公衆ノ方カラ御話ガアリマシテ、我
我ト致シマシテハ洵ニ慚愧ニ堪エナイ
次第デゴザイマス、大臣モ御就任以
來、此ノ點ニ對シマシテ特ニ御關心ヲ
深メラレ、如何ニシテモ公衆ノ要望ニ
副フベク、通信ノ復興、事業ノ整齊ヲ
期スル爲ニ、非常ナ御決意ヲ以テマシ
テヤラレテ居ルノデゴザイマス、我々
ト致シマシテモ公衆ノ要望ニ御應ヘス
ベク、現ニ先ヅ郵便ノ正確、其ノ次ハ
敏速ト云フヤウナ風ニ、事業ノ各般ニ
互リマシテ整備ヲ圖ルベク、毎日如何
ニスレバ宜イカト云フコトヲ檢討致シ
テ居ル次第デゴザイマス、オ蔭様ヲ以
テマシテ、料金値上モ御協賛ヲ得ルヤ
ウナ運ビニナリマシテ、従業員ノ一部
ト致シマシテ、生活苦カラスル業務ノ
運営上ノ弛緩ハ、相當程度解除サレタ
デゴザイマス、從業員ノ方面カラ
致シマシテモ、今ノヤウナ現狀デハ世
間ニ對シテ申譯ナイ、管理側ト話合
ヒヲ致シマシテ、通信事業費ノ復興ニ
對シマシテ、一ツヤラウヂヤナイカト
云フ雰圍氣ニ、徐々ニナリテ、アルハ
デゴザイマス、我々ト致シマシテハ、
此ノ機ヲ逸セズ、具體的ナ整備ヲ圖リ
タイト思フノデゴザイマス、ソレニ付
キマシテ先ヅ問題ニナリマスノハ、何
ト申シマシテモ、郵便關係デアレ、電
話關係デアレ、電信關係デアレ、相當
ナ震災ノ影響ヲ受ケテ居ルノデゴザイ

マスカラ、速カニソレ等ノ面ノ復興ニ
對シマシテ、力ヲ重點的ニ配スルト同
時ニ、仕事ノヤリ振リニ對シマシテ、
世ノ御期待ニ副フヤウナ風ニヤルベ
ク、一生懸命今晝策致シテ居ル次第
デゴザイマス、之ヲ以テマシテ御答ヘト
致シタイと思ヒマス

○青木(海)委員 昨日ノ或ル新聞ニ依
ルト、生命保險ノ打切りト云フヤウナ
コトガ出テ居ルノデアリマスガ、果シ
テ政府ハサウ云フコトニ付テ考ヘテ居
ルカ、又勿論簡易生命保險ナドハ、サ
ウ云フコトハ全然ナイと思ヒマスガ、
ア、シタ話ノ出タ根據ナドニ付テ承リ
得レバ結構デアリマス

○野田政府委員 生命保險ノ打切りノ
問題ハ、ハ御承知ノヤウニ、最近軍
需補償ノ打切り等ト絡ミマシテ、各種
各樣ノ噂ガ飛ンデ居ルノデアリマス、
恐ラク新聞ニ出テ居タトスレバ、ソ
レハ各種各樣ノ巷説ノ一ツデアリマ
ス、之ニ付キマシテハ、生命保險ノ打
切りト云フコトハ非常ニ重大ナ問題デ
アリマシテ、簡單ニ取扱ヒ得ルコトデ
ハナイト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ
政府ハドウ考ヘルカト云フ問題ニ付キ
マシテハ、補償ノ問題ニ關スル各種ノ
措置トシテ、我々トシテハソレニ對ス
ル態度ヲ、此ノ際具體的ニ發表スルト
云フ問題ニナツテ來テ居リマスガ、生
命保險ノ中デ、今選信省ニ付テ御尋ネ
ノアリマシタ簡易生命保險ナドニ付キ
マシテハ、是ハ政府ノ方ノ債務デアリ
マス、併シ市中ノ生命保險ハ生命保險
會社ノ關係スルモノデ、別ニ政府ノ關
係スルモノデハアリマセヌ、之ニ付テ
ハ能ク噂ノ出テ來ル内容ハ分リマセ
ヌ、サウ云フコトハ能ク知リマセヌ

○青木(海)委員 選信省關係ノコトニ

戻ルノデアリマスガ、選信省ノ方デハ
郵便事務以外ニ、郵便年金、簡易生命
保險ト云フヤウニ、他ノ部面ノ事業ガ
非常ニ多イヤウニ思フノデアリマスガ、
是ハ少シ多過ぎハセヌカ、餘リニ郵便
局ニ對スル中央ノ指示ト云フカ、依頼
ト云フカ、事務ヲサセル上ニ於テ非常
ニ郵便局ハ仕事ガ多クテ困ルト云フヤ
ウナ話ヲヨク聞イテ居ルノデマスガ、是
等ノ運営上何等カ改善ノ途ヲ御考ヘニ
ナツテ居ルカドウカ、一ツ御伺ヒ致シ
タイと思ヒマス

○白根説明員 御答ヘ致シマス、御説
ノヤウニ只今郵便局ノ事務ハ相當複雑
多岐デアツテ、相當過重ナ負擔ヲ掛ケ
テ居ル向キモアルノデアリマス、併シ
今マデノ建前ト致シマシテモ、簡易保
險、郵便年金、斯ウ云フ仕事ノ分野ト、
郵便通信關係ノ仕事ノ分野トハ、出來
ルデカ分課的ナ體制ヲ執リツ、忙シ
イ時ニハ相互融通スルヤウニ育テ、參
ツタデアリマス、ソコデ最近新聞問
題其ノ他ニ依リマシテ、通信關係ノ窓
口ガ相當忙シクナツテ參ツタト云フ
デ、ソレニ對シマシテハ或ル程度實行
上定員ノ配置ヲ考ヘルト同時ニ、他部
ノ繰合セト申シマスガ、郵便ノ方ハ簡
易保險、年金ノ方ノ其ノ時忙シクナイ
時ニハ、他部繰合セテ致シマシテ、相
互融通ニ依リマシテ出來ルデカ事務繁
忙ヲ緩和スルヤウニヤツテ參ツテ居ル
ノデアリマス

○青木(海)委員 御相談ヲ致シ
マスガ、如何デセウ、是カラマダ續ケマ
シテ、午後一時カラヤルト云フヤウナ
コトニ致シマスガ、新妻サン、如何デ
スカ

○新妻委員 私之ヲ戴イタバカリデ、
出來マスナラバ今日一日オ暇ヲ戴イ

テ、勉強サシテ戴イタ方ガ結構ダと思
ツテ居リマスガ、

○青木(海)委員 一ツ政府委員ノ擔フ
マデ休憩サレタイと思ヒマス

○青木(海)委員 代理 一ツレデ宜シウ
ゴザイマセウカ、ソレデハ午前十時ハ
デ質問ヲ打切りマシテ、午後カラ再ビ
開會致シマス、ドウゾ午後一時ニ御參
集願ヒタイと思ヒマス

午後十一時三十分休憩

午後一時二十五分開議

○坂東委員長 午前二引續イテ是ヨリ
開會致シマス、青木清左エ門君

○青木(海)委員 一ツレデハ今度ハ運輸
省ノ關係ニ付テ質疑ヲ續ケテ行キタイ
ト思ヒマス、現在ノ鐵道ノ運行其ノ他
ノ亂狀態ヲ考ヘテ見マスト、寧ロ私
ハ戰爭中ヨリハビドイノデヤナイカト
思ヒマス、終戦後列車ノ「ガラス」戸ガ
壞レト云フ程ニマデ乗客ノ統制ガ取
レナカッタト云フコトハ、私ハ非常ニ遺
憾ト思フノデアリマシテ、是等ノ起ツ
テ居ル現象其ノモノガ、國民ニ對シテ
一種不安ノ念ヲ起ス、又政府ノ對スル
不信ノ念ヲ起ス、其ノ源動力ヲナシテ
居ルモノト考ヘルノデアリマス、鐵道
ト致シマシテ、今後如何ナル方法ヲ以
テ是ガ改善ヲ行フ御豫定デアルカ、承
リタイと思ヒマス

○伊能政府委員 只今青木サンカラ御
尋ネノアリマシタ件ニ付キマシテ、御
答ヘヲ申上ゲマス、御承知ノヤウニ、
昨年ノ八月半バニ戰爭ガ終了致シマシ
タ當時、日本人誰モガ經驗ヲ致サナ
カッタ事態ニ達致シマシタ爲ニ、日
本ノ凡ユル機能ガ停頓、停止ノヤウナ
狀態ニ相成ッタノデアリマスガ、獨
リ輸送ダケハ國民生活ノ維持ノ上カラ

一日モ停止、停頓ヲ許サナイ狀況デアリマシタノデ、我々ハ平常通り運行ヲ確保スルヤウニト云フ指令ヲ出シテ、終戦後ノ混亂防止ニ全力ヲ傾倒致シタノデアリマスガ、御承知ノヤウナ狀況デ必ズシモノレガ萬全デアッタハ申上テ兼ネルノデアリマス、例ヘバ、輸送途中ニアリマス物資ノ盜難等ニ付キマシテモ、各府縣ト連絡ヲ致シマシテ、是ガ確保ニ當ルト同時ニ、一部軍ノ放出物資ノ放出方法ニ付キマシテモ、全體ノ統制ヲ取レナカッタ體ミガアリマシテ、サウ云ッタモノニ對スル一般民衆ノ明確ナ正義觀念ノ廢却ト申シマスカ、色々ナ形デ鐵道ノ驛等ニ混亂ノ起リ掛ケタ事態モアリマスガ、是等ニ付キマシテハ、警察ト協力ノ上デ萬全ノ措置ヲ執ツテ參ッタイウナ次第デアリマス、又一般旅客輸送ニ付キマシテハ、戰爭中軍需物資ヲ出來得ル限リノ確ニ輸送致シマシテ、戰力ノ増進ニ資シヨウト云フ意圖ニ出テ居リマシタ關係上、旅客ハ昭和十七、八年當時ノ最モ旅客輸送ガ盛ンデアッタ項ニ比較致シマス、六十「パーセント」程度ノ輸送力シカ持ツテ居リマセヌデシタ、然ルニ終戦直後ノ復員其ノ他ノ旅客輸送ノ非常ナ幅渡ガゴザイマシタノデ、之ニ對處致シマス爲ニ、旅客ノ輸送力ヲ極力増強致シマシテ、復員輸送ニ當ッタイウナ次第デアリマスガ、當時各軍管區等ニ於テ、ソレハ「個々」ノ復員解除ノ措置ガアリマシタ爲ニ、一般輸送ニモ相當ナ支障ヲ及ボシマシタ關係上、陸軍省、海軍省ト連絡致シマシテ、地方的な復員解除ニ付テハソレハ「所管鐵道局ガ適正ナ輸送措置ヲ執ル、又送距離ノ、鐵道局ヲ異ニシテ輸送セラレル復員輸送ニ付テハ、

中央ニ於テ是ガ臨時のナ手ヲ打ツト云フコトデ、各般ノ措置ヲ講ジマシテ復員輸送ノ萬全ヲ期シマシタ、又終戦直後ノ食糧事情ヲ考慮致シマシテ、又治安維持ノ點カラモ、六大都市ノ人口ヲ出來ルダケ集中セシメナイト云フ見地カラ、八月十六日ヨリ九月ノ半バマデ、六大都市ニ對スル入込ミノ輸送制限ヲヤルト云フヤウナ措置モ執リマシタ、又終戦後ノ旅客輸送ノ非常ナ幅渡ニ對シマシテハ、當時御承知ノ如ク、戰爭ノ爲ニ二千數百輛ノ客車ガ戰災ヲ蒙ツテ居リマシタノデ、是ガ補足ト致シマシテハ、臨時のニ貨車ヲ客車ニ代ヘマシタリ、貨物列車等ニ依ツテ旅客輸送ヲ緩メスルト云フヤウナ措置ヲ執ツタヤウナ次第デアリマス、又貨物輸送ニ對シマシテハ、終戦ト共ニ重要産業ガ殆ド停頓ノ狀態ニ相成リマシタ爲ニ、戰爭中製ノ消化ト共ニ、昭和二十年度ニ於キマシテハ、四、五、六、七、八ト逐次輸送ガ減退シツ、アツタノデアリマスルガ、ソレデモ八月前半ニ於キマシテハ一日三十萬トシテ程度ノ輸送ヲ繼續致シテ居リマシタ、ソレガ終戦ト共ニ二十四、五萬「トン」ト云フヤウナ所マデ落ちマシテ、是デハ國民生活ニ必要ナ最小限度ノ物資ヲモ輸送スルニハ不足デアルト存ジマシタノデ、極力生活必需品物資ノ輸送ノ促進、出荷方ニ相努メマシテ、是亦逐次回復ヲ致シテ參リマシタ、九月ニハ一日當リ二十二、三萬「トン」、十月ニハ二十、五、六萬「トン」、十一月ニハ三十萬「トン」近イ所マデ回復シテ參ッタイウナ狀態デアリマス、然ルニ全體ト致シマシテハ、只今御指摘ノアリマシタ如ク、未ダ曾テ經驗ヲシナイヤウナ事態ニ逢著致シマシタ爲ニ、日本ヲ擧ゲテ

混亂ノ狀態ニ落ち、又其ノ間隙ニ乗ジマシテ、各般ノ障礙ト申シマスルカ、色々ナ國民生活ヲ脅カスヤウナ事態モ起ツテ參リマシタ爲ニ、ソレガ輸送ニ總テ掛ツテ參リマシタ、著シク輸送ノ混亂ヲ來タシ、御指摘ノ如ク或ハ窓カラ飛込ミ、或ハ窓ノ破壊スル、ソレガ單ニ邦人ダケデナイト云フヤウナ狀態ニ相成リマシテ、日本ノ警察力ニ依リマシテ、之ヲ何トカ舊態ニ復シタイト云フヤウナ努力ヲ、政府トシテハ舉ゲテ致シタノデアリマスルガ、終戦後ノ日本自身ノ力デハ何事モ出來ナイト云フヤウナ狀況カラ、十分満足ノ行キヤウナ治安ノ狀態ニナラヌト云フ狀況デ其ノ影響ヲ受ケマシテ旅客ニ多大ノ御迷惑ヲ掛ケシヤウナ次第デアリマス、其ノ點ハ甚ダ山譯ナイト存ジテ居リマス、其ノ後輸送ガ旅客貨物共逐次回復シテ參リマシタ所ヲ、昨年ノ十二月ノ石炭危機ノ爲ニ非常ナ支障ヲ蒙リマシテ、折角十一月ニ旅客列車、貨物列車ノ輸送力ノ増強ヲ致シマシタモノガ、十二月一箇月ヲ經ズシテ其ノ半分ヲ制限シナケレバナラヌト云フヤウナ輸送ノ危機ニ逢著致シマシタ爲ニ、輸送上ノ混亂ヲ一層助長シタカノ感ガアルデアリマス、其ノ後一、二、三、四月ト、逐月石炭生産モ順調ニナツテ參リマシテ、輸送モ稍々緩和サレ、私共ト致シマシテハ、六月ニハ一般列車ニ付テハ出來得ル限リ切符ノ自由販賣ノ態勢ヲ執リタイト云フ所マデ決意致シタノデアリマスガ、御承知ノ如ク夏期ノ石炭減産期ニ入リマシタ爲ニ、四月ノ最廣ト致シマシテ、五、六、七、ト逐次石炭ノ割當ヲ減ラサレト云フ狀況ニナリマシテ、サウ云ツタ旅客ノ自由乘車、切符ノ自由販賣、貨物ノ自由

受託ト云フヤウナ所マデハ參リ兼ネテ、今日ニ至ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、最近特ニ社會問題ニマデナリ掛ケテ、皆様に御迷惑ヲ御掛ケシテ居リマス東京都内ノ電車輸送等ノ問題ニ付キマシテモ、我々ト致シマシテハ終戦直後、昨年九月ニ戰災車輛ノ復舊ト、車輛ノ新製ニ付キマシテ劃期的な計畫ヲ樹立シテ、之ヲ各「メーカ」ニ其ノ生産方ヲ命令ヲ致シタノデアリマスガ、終戦後ノ勞働事情、食糧事情、其ノ他ノ關係カラ、洵ニ遺憾ナガラ是ガ實現ガ遅タシテ進ミモ「モーター」關係、電動機ノ生産ガ殆ド停頓シテ進マナイ、ソレガ爲ニ折角電車、客車ノ車體ハ出來テモ、電送部分、電動機ガ出來ナイ爲ニ、是ガ機能ヲ發揮シ得ナイト云フヤウナ狀態ニナリマシタノデ、今日ニ於キマシテハ、省自ラノ工場ヲ動員致シマシテ、是ガ整備ニ當ッタイウナ次第デアリマス、三月、四月、五月ト、客車電車整備清掃運動ヲ展開致シマシタカラ、相當ナ好成績ヲ收メテ參ッタイウナデアリマスルガ、先月、六月ニ至リマシテ、食糧事情其ノ他ノ關係カラ、意ノ如ク勞働能率ヲ、官民一致シテ十分ニ發揮セシメルコトガ出來ナイヤウナ事態ニナリマシタ、六月ニハ能率ガ相當落ちタ爲ニ、最近特ニ色々御批判ヲ戴イタヤウナ電車輸送ノ現狀ニアリマスガ、今月カラ各方面カラハ御協力ニ依リマシテ「モーター」ノ修理、新製モ相當顯著ナ進展ヲ示シマシタノデ、私共ト致シマシテハ、先ツ今月ノ最低トシテ、八、九、十、此ノ三箇月ノ間ニ出來ル限リ舊態ニ復シタイ、出來レバ十二月マデニ輸送ヲ昔ノヤウニ、ソレ程御迷惑ヲ掛ケズニ、電

車モ新シイモノヲ作り、古イモノヲ修復シテヤツテ參リタイ、勿論之ニハ勞働能率ノ向上、勤勞意欲ノ増進、増進、資材ノ整備、其ノ他凡ル困難ガ伴ヒマスガ、私共トシテハ極力力ヲ傾倒シテ、其ノ方向ト進シテ參リタイト考ヘテ居リマス、又最前御指摘ノ交通秩序ノ維持、列車ノ混亂ト云フ問題ニ對シテ如何考ヘルカ、今後ノ對策如何ト云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、此ノ點ハ獨リ運輸省ノ力ノミヲ以テマシテハ、中々困難デアリマシテ、國民全體ガ輸送ニ御協力ヲ願フト共ニ、私共自身モ國家國民ノ鐵道ヲ、出來得ル限リヨリ良イ狀態ニ運営スルト云フコトヲ心掛ケテ居リマス、又一部朝鮮人、臺灣省民等ノ列車内ニ於ケル各般ノ「トラブル」等ニ付キマシテモ、政府ト致シマシテハ一般司法警察ノ外ニ、鐵道行政警察ヲ強化致シマシテ、交通秩序ノ確保、正當旅客ノ乘車保護、並ニ一般荷物輸送ノ安全、的確ナ輸送ヲ確保シテ參リタイト云フ決意ヲ以テ、著々準備ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、何分宜シク御協力願ヒタイと思ヒマス

○青木(海)委員 只今ノ御懸念ナル御答辭ニ依リマシテ、私ハ元々鐵道ノ職員及ビ運賃ノ面ニ當ラル、方ノ熱誠ニハ、非常ナ好意ヲ以テ對シテ居ツタ譯ナノデアリマス、唯職員ナドガ相當努力シテ居ルニモ拘ラス、其ノ努力ガ現ハレテ來ナイ、報イラレナイト云フコトニ對シテ、私ハ寧ロ口氣ノ毒ニ考ヘテ居ル譯ナノデアリマス、隨テ私ノ質疑モ、斯ウシタ考ヘヲ基本トシテ申上ゲル譯デアリマスルガ、旅行ノ調整ニ付テモ、只今ノ御答辭ノ中ニアリマシタガ、私ハ旅行ノ調整ト云フモノハ、

モットはハ強化スベキモノデハナイカ
ト思フノデアリマス、又現在車内ニ持
込ム荷物——此ノ間私モ一寸家マデ歸
ツテ來タノデアリマスルガ、車内ニ持
込ム荷物ガ甚大キコト、サウシテ
之ヲ持込ム人ノ態度ノ不遜ナコトカド
ヲ考ヘマシテ、ドウシテモハ警察力
「タイアアップ」シテ只今ノヤウナ鐵道
警察ト云フヤウナコトモ、一ツノ方法
デアリマスルガ、一ツは等ノ荷物ノ點
檢、又持込ミノ禁止、即チ旅行調整デ
アリマスルガ、是ハ戰爭中ニヤツタ旅
行調整ト云フコトニ付テハ、或ル程度
不評判デアツタ、不評判デアリマスル
ガ、現在ノ闇市ニ流レル品物、或ハ闇
ニ流レル品物ヲ運ブモノハ、恐ラク私
ハ鐵道デアラウト思フ、決シテ自働車
デハナイト思フノデアリマス、此ノ意
味ニ於テ、鐵道ノ社會不安除去ニ對ス
ル役割ト云フモノハ、私ハ非常ニ大キ
イト思フノデアリマス、隨テ是ガ徹底
シテ取締ヲ強化シテ戴キタイト思フノ
デアリマスガ、此ノ旅行調整ニ關シテ
ドウ云フ御考ヘデアリマスカ、又今後
ドウ云フ手段ヲ御執リニナリマスカ、
モウ少シ詳シク御説明ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○伊能政府委員 只今御質問ノ點ニ付
テ、御答ヘヲ申上ゲタイト存ジマス、
六月以前ニ於キマシテハ、各鐵道局ト
モ或ル程度ノ輸送制限ヲ行ツテ居リマ
シタ、ソレヲ六月初メカラ特ニ難否致
シマス區間、並ニ只今御指摘ノヤウ
ナ、巨大ナ荷物ヲ持込ムヤウナ地域、
端のニ申上ゲマス、闇買ノ容易ニ行
ハレルヤウナ、北陸、東北地帶ト云フ
ヤウナ方面ニ付テ、例ヘ現在ハ山陽
線、常磐線、東北線、奥羽線、信越線、
大阪カラ青森ニ參リマス裏線、其
ノ他關門、青函、是等ノ區間ニ付キマ
シテハ、毎日ノ販賣枚數ヲ制限致シテ
居リマス、其ノ他ノ區間ハ原則トシテ
自由販賣ニ致シテ居ル譯デアリマス
ガ、此ノ點ニ付テハ、戰時中輸送抑制
措置ガ必ズシモ成功デナカッタト云フ
御指摘ガゴザイマシタ、私共モ其ノ點
ニ付テハ至ク申譯ナイト思ツテ居リマ
スガ、今日ノ平和ナ時代、殊ニ所謂民
主義ガ各方面ニ於テ色々角度カラ
主張セラレル時代ニ於キマシテハ、輸
送ノ抑制ト云フコトハ非常ナ困難ガ件
フノデアリマス、理想的ニ申上ゲマス
ナラバ、私ハ出來得ル限り輸送力ヲ増
強致シマシテ、切符ヲ自由販賣スルコ
トガ、一番輸送ヲ圓滑ニスル方法デア
ル、斯様ニ確信ヲ致シテ居リマス、現
在輸送ガ抑制セラレテ居リマスルガ故
ニ、各般ノ不正行為ガ殘念ナガラ出
テ居リマス、是ハ必ズシモ汽車賃ノ通
脱ヲスルト云フヤウナ目的ノバカリデモ
ナイヤウニ私共考ヘマスノデ、輸送ヲ
圓滑ナラシムル方法ハ、出來得ル限り
早イ機會ニ輸送ノ抑制措置ヲ解除ス
ル、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマスガ、遺
憾ナガラ現狀ニ於キマシテハ、石炭ノ
不足ナ關係、又石炭「カローリ」ガ著
シク低下致シテ居リマス關係、其ノ
他車輛ガ二千數百輛モ戰災ヲ蒙ツテ居
ル現狀ニ於キマシテ、直チニ全面的ナ
輸送抑制解除ヲ致スコトハ出來難イヤ
ウナ現狀デアリマスノデ、コ、當分ハ
現狀ヲ推移シテ參リナケレバナナイ
ト斯様ニ考ヘマス

○伊能政府委員 只今專門ノ御質問
ガゴザイマシタ、私共ト致シマシテ
ハ、現在ノ旅客輸送ノ重點ハ、御指摘
ノ如ク、遠距離輸送ノ確保ト、モウ一
ツハ通勤旅客輸送ノ確保、此ノ二點ニ
重點ヲ置イテ輸送ヲヤツテ居ル次第デ
ゴザイマスルガ、御指摘ノヤウニ、遠
距離ノ輸送ハ必ズシモ私共ガ見マシテ
モ直通列車ガ餘リ多クゴザイマセヌ、
殊ニ急行列車ニ付キマシテハ、東海道
線ニ付キマシテモ僅カニ數本、東北線
ハ一本ト云フヤウナ、昔ノ平和時代ノ
輸送ニ比ベマス、實ニ數分ノ一ト云
フヤウナ衰弱ナ輸送ヲ致シテ居ルヤウ
ナ次第デゴザイマス、然ルニ都市近郊
ノ通勤輸送ニ付キマシテハ、御承知ノ
ヤウニ非常ニ輕便致シテ居リマス、最
モ端のニ其ノ事情ヲ反映致シテ居リマ
スモノハ、大部分ノ國內ノ都市ガ戰災
ニ遭ツテ居リマスル爲ニ、通勤ノ足ガ
非常ニ伸びテ參リマシテ、電車區間ニ
於キマシテモ、定期券ノ平均乗車「キロ」
ト云フモノハ、戰時中大體十一「キロ」
メートル「カ」十二「キロ」メートル「デ」
ゴザイマシタ、ソレガ現在ニ於キマシテ
ハ三十「キロ」近クニ相成ツテ居ル譯デ
アリマシテ、ソレデケデモ一人ノオ客
サンガ倍ノ距離ノ座席ヲ占有スル、乘
込ンデ居ルト云フコトデ、非常ナ混雜
ヲ致シテ居リマス爲ニ、遠距離ノ輸送
緩和ヲ致ス邊ガヤウナ現狀デアリ

出來ル限り長距離區間ノ列車運轉ヲヤ
ラレタ方ガ却ツテ宜イノデヤナイカ、
現在ノ此ノ列車ノ運轉方法ハ、却ツテ
乗客ヲ混亂ニ導イテ居ル原因デハナイ
カト私ハ思フノデアリマスルガ、此ノ
點何カ特殊ナ御考ヘデ現在ノ方法ヲ御
執リニナツテ居ルカドウカ、之ヲ承リ
タイト思ヒマス

○伊能政府委員 只今專門ノ御質問
ガゴザイマシタ、私共ト致シマシテ
ハ、現在ノ旅客輸送ノ重點ハ、御指摘
ノ如ク、遠距離輸送ノ確保ト、モウ一
ツハ通勤旅客輸送ノ確保、此ノ二點ニ
重點ヲ置イテ輸送ヲヤツテ居ル次第デ
ゴザイマスルガ、御指摘ノヤウニ、遠
距離ノ輸送ハ必ズシモ私共ガ見マシテ
モ直通列車ガ餘リ多クゴザイマセヌ、
殊ニ急行列車ニ付キマシテハ、東海道
線ニ付キマシテモ僅カニ數本、東北線
ハ一本ト云フヤウナ、昔ノ平和時代ノ
輸送ニ比ベマス、實ニ數分ノ一ト云
フヤウナ衰弱ナ輸送ヲ致シテ居ルヤウ
ナ次第デゴザイマス、然ルニ都市近郊
ノ通勤輸送ニ付キマシテハ、御承知ノ
ヤウニ非常ニ輕便致シテ居リマス、最
モ端のニ其ノ事情ヲ反映致シテ居リマ
スモノハ、大部分ノ國內ノ都市ガ戰災
ニ遭ツテ居リマスル爲ニ、通勤ノ足ガ
非常ニ伸びテ參リマシテ、電車區間ニ
於キマシテモ、定期券ノ平均乗車「キロ」
ト云フモノハ、戰時中大體十一「キロ」
メートル「カ」十二「キロ」メートル「デ」
ゴザイマシタ、ソレガ現在ニ於キマシテ
ハ三十「キロ」近クニ相成ツテ居ル譯デ
アリマシテ、ソレデケデモ一人ノオ客
サンガ倍ノ距離ノ座席ヲ占有スル、乘
込ンデ居ルト云フコトデ、非常ナ混雜
ヲ致シテ居リマス爲ニ、遠距離ノ輸送
緩和ヲ致ス邊ガヤウナ現狀デアリ

ト、稍々緩和サレテ居ルコト云フ狀況ニ
アリマス爲ニ、已ムヲ得ズ御承知ノヤ
ウナ措置ヲ執ツテ居ル次第アリマシ
テ、石炭ノ需給ガ改善セラレタ際ハ、
御指摘ノヤウナ遠距離ノ疲勞ノ多イ輸
送ニ付キマシテハ、極力輸送力ヲ整備
シテ改善致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○青木(清)委員 此ノ鐵道問題ニ付テ
ハ、先程カラ申上ゲテ居ルヤウニ、現
在ノ社會不安除去、殊ニ國物資ノ運送
ト云フコトニ付テ、重大ナル役割ヲ鐵
道トシテハ分擔サセラレテ居ル、此ノ
現在ノ終戰時ノ混亂ニ伴フ社會不安、
最モ除去サルベキ管ノモノガ更ニ深ク
ナツテ行クコト云フ現在ヲ御考ヘニナリ
マシテ、ソレ等ノ面ニ於テ、ドウカ國
家ノ施策ニ御協力願フト同時ニ、非日
本國民ノ人々ガ是等ノ社會不安ヲ醸成
スル面ニ於テ、非常ニ惡イ役割ヲ持ッ
テ居ルコト云フ點ニ付テモ、御考慮ノ上
精々御努力願ヒタイ、鐵道關係ノ質疑
ハ之ヲ以テ打切りマス

次ニ警察權擴充ノ問題ニ付テ御質問
申上ゲタイ、私ガ此ノ委員會ニ於テ特
ニ終戰時ノ混亂ト之ニ伴フ社會不安ト
云フコトニ付テ御質疑申上ゲテ居ル
ハ、唯政府當局カラ説明ヲ聽カントス
ルコトノミガ目的デハナイ、此ノ議院
ニ於ケル凡ニル質問ガ、社會ニ與ヘル
影響ト云フモノヲ考ヘテ居ル、是等ノ
問題ハ或ル意味ニ於テハ豫算ガ提出サ
レテカラ、豫算委員會ニ於テ御質疑申
上ゲル性質ヲ多分ニ含ムカモ知レマセ
ス、併シ何時提出サレカ分ナリ豫
算ヲ目當テシテノミデナク現在刻々
迫リツ、アル社會不安ノ除去ト云フ重
大ナル役割ヲ我々衆議院議員トシテ果
爲ニ努力スルト云フコトハ、洵ニ私ハ

意義ガアルト思フ、殊ニ現在此ノ委員
會ニ付議サレテ居ル凡ニル法律ノ廢止
ノ法案ト云フモノハ、先程來申上ゲテ
居ルヤウニ、戰爭ニ關係スル法律ノ廢
止デアリマス、隨テ私ガ現在ノ終戰時
ニ伴フ社會不安ト云フモノニ對シテ質
疑申上ゲルコトモ、相當ノ關聯性ヲ持
ツテ居リ、我々ハ此ノ法案ノ審議ノ上
ニ、十分研究シナケレバナラナイ問題
ト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付
テ私ノ態度ヲハツキリ致シタ上デ御質
疑申上ゲタイ、先ヅ警察權擴充ノ問題
デアリマスガ、此ノ問題ガ制度ノ委員
會ニ於テ、或ル委員ノ方カラ警察大學
ヲ作ルト云フ事柄ハ、警察ノ官僚化ノ
温床デアルト云フ御意見ヲ承ツタノデ
アリマスガ、私ハサウハ思ハナイノデ
アリマス、寧ろ現在ノ狀況ニ於テハ、
警察權ハ擴充スベキモノデアアル、又警
察大學ト云フ教養機關ノ設置シテ、本
當ニ日本ノ警察力ト云フモノヲ確立
シ、教養ナル警察官ニ依ツテ軍隊ノ
ナリ、戰爭ヲ抛棄シタ日本ノ國民ヲ守
ツテ戴カネバナラナイト、私ハ痛切ニ
考ヘルノデアリマス、此ノ間金曜日
ニ、私ハ午後ノ二十時東京發ノ急行列
車ニ乘リマシテ、自宅ニ歸ツタノデア
リマスガ、其ノ時ニ檢札ニ來マシタ鐵
道員ニ協力シタ警察官ト、三人程ノ某
國人トノ間ニ、色々ナ物言ヒガアツタ
現場ヲ私ハ目撃シテ居ルノデアリマ
ス、私ガ斯ウ云フコトヲ申上ゲテモ、
ウヅ其ノ當時ノ警察官ヲ御叱リノナイ
ヤウニ御願ヒシマス、私ハ此ノヤツタ
事柄ニ對シテハ或ル考ヲ持ツテ居ルノ
デアリマスガ、此ノ人ノ態度其ノコト
ニ付テ、私ハ寧ろ是ハ警護スベキ日本
ノ警察官デアルト云フコトヲ考ヘテ居
ルノデアリマス、是ハ前提トシテ申上

ゲル所ガ、其ノ警察官ノ方ガ——人ト
云フ言葉ヲ使ツタ其ノ——人ト云フ言
葉ヲ使ツタ爲メニ喰ツテ掛ラレタ、此
ノ某國人三人ノ者ハ三等ノ切符ヲ持ッ
テ二等ニ乗ツテ居タ、是ハマダ宜イ
方ダト思フ、無切符乗車スル者ガ澤
山アラウガ、此ノ某國人ハ三等ノ切符
ヲ持ツテ二等ニ乗ツテ居タ、サウシ
テ——人ト云フ言葉ガ出タ爲ニ喰ツテ
掛ツタ、ソレヲ見タ乘客ハミンナ齒ギ
シリヲシテ居タ、何トカシテ此ノ問
題ヲ一ツト云ツテ齒ギシリシテ居タ
併シ残念ナガラ警察官ハ其ノ某國人
ニ、私ハ——人ト云フ言葉ヲ使ツタ覺
エハナイ、併シ萬一使ツテ居ルトシタ
ナラバ此處デ謝罪スルト云フヤウナ
コトデ話ノ變ガ付キマシテ、約一時間
程掛ツテ居ル、斯ウ云フ點カラシテ、
私ハ警察官ノ素養ト云フコトニ付テハ
重大ナル關心ヲ持ツテ來ルノデアリマ
ス、即チ警察官ノ數ノ點ニ付テ、現在
ノ警察官ヲ以テ日本ノ治安維持ニ當リ
得ルカドウカ、是ガ一ツノ疑問デアリ
マス、是ハ「マツカサー」司令部トノ
色々ナ問題ニナルト思ヒマスガ、私ハ
現在ノ數ハ或ル程度増サネバナラヌト
思フ、又先ニ申シマシタ質問問題、教養ノ
機關ヲ持ツテ居ルノニ、コチラハ棍
棒ヲ持ツテ對スル、向フハ拔身ノ白刃
ヲ振リ對シテ居ルノニ、コチラハ棍棒
ヲ持ツテ對立スルト云フコトハ、餘リ
ノ滑稽ナ對照デヤナカト思フ、斯ウ
云フコトヲ申上ゲルト、私ハ軍國主義者
ノヤウニ考ヘラレル、警察官ノ擴充ガ
將來ノ日本ノ軍國主義ノ温床ニナルノ
デヤナカト云フコトヲ、占領軍トシ
テ御考ヘニナルカモ知レナイト思ヒマ
スルガ、私ハ是カラ復員省ノ方、其ノ

他ニモ質疑ヲ申上ゲタイト思ヒマス
ガ、私ノ質疑ノ目的ハ、日本ノ國ノ力
ト云フモノハ、戰爭當時ノ狀態ニ付テ
モ同様デアリマスガ、能ク國民ニ認識
サセサスレバ、警察力ヲ如何ニ擴充
シタカラト云ツテ、其ノ擴充サレタ警
察力ヲ以テ、優秀ナル聯合國ノ武力ニ
對抗スルト云フコトハ、大ソレタ考ヘ
デアアル、又知ラサネバナラヌト思フ、
デカラ、此ノ點ハ一ツ、日本國民ガ「ボ
ツダム」宣言ヲ忠實ニ履行シテ居ルノ
點ト云フ點ヲハツキリサシテ、警察權
ノ擴充ノ爲ニ、關係筋ノ方々トドウゾ
折角折角サレマシテ、我々ノ期待ニ副
フ國內治安ガ齎セルヤウニ、私ハ御願
ヒシタイト思フノデアリマス、隨テ是
等ノ點ニ付テ、内務省トシテハ如何ナ
ル今後ノ構想ヲ持ツテ居ルカ、私ハ此
ノ儘放任致シマスナラバ、今日ハ内務
省關係ノミナラス、凡ニル關係ノコトニ
付テ御質疑申上ゲテ居リマスルガ、ソ
レ等ハミナ一連ノ關係ヲ持ツテ居ル、
ソレ等ノ一連ノ關係ヲ持ツテ居ル色々
ナ現象ヲ、此ノ際斷乎トシテ解除シテ
行カナケレバ、場合ニ依ツテハ寧ろ聯
合軍其ノモノガ出動シナケレバナラナ
イヤウナ社會不安ノ狀態ニ立到ラスト
モ限ラヌ、斯ウ思フ、斯ウ云フコトハ
日本國民トシテ甚ダ不名譽デアアル、現
在ノ占領形式其ノ儘ヲ寧ろ日本ノ國ニ
有利ニ轉換サレシコトヲ望ム、其ノ前
提トシテ、私ハ何處マデモ「ボツダム」
宣言ノ忠實ナル履行者デアリ、戰爭ヲ
拋棄シタ平和ナ日本國デアルト云フコ
トヲ建前トシテ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、一ツ内務當局ノ方々ハ、今後警
察力ト云フモノヲドウ云フ風ニ布陣シ
テ行クカ、御考ヘガアリマシタナラ

バ、承リタイト思ヒマス
○淺淵説明員 只今警察官ニ對シマシ
テ非常ニ御理解ノアル御話ヲ伺ヒマシ
タガ、昨日來新聞記事、又議會方面ニ
モ御配リシテ居リマスヤウニ、内務省
ト致シマシテハ、現在ノ警察力ヲ其ノ
少イ員數デ、而モ時代ノ要求デアル民
主化スル方面ト同時ニ、其ノ増分ケノ
非常ニ難カシ警察活動ノ強化ト云フ
コトニ付キマシテ、苦心ヲ致シマシタ
案ヲ御示シ致シテ居ル譯デアリマス、
要點ハ御話戴キマシタヤウニ、質ト數
トノ問題デアリマス、數ノ問題ハ御話
ノヤウニ簡單ニ參ラナイノデアリマ
ス、色々ノ方法デ此ノ方面ノ折衝モ致
シテ居ルノデアリマスガ、差當リハ質
ノ問題ヲ改善スルヨリ途ガナイノデア
リマス、ソレニ付キマシテハ教養機關
ノ擴充、是ハ相當年月ノ掛ルコトデア
リマスガ、ドウシテモ此ノ方面ノ努力
ヲシナケレバナラヌ、サウシテ同時ニ
氣魄ノ取返シト云フコトガ極メテ必要
デアラウト思ヒマス、戰爭後ニ於キマ
シテ色々ノ社會情勢カラ致シマシテ、
警察官ガ一時元氣ガナクナツタト思ヒ
マス、實際ヤルベキコトニ付テモ遠慮
スルト云フヤウナ傾向ガアリマス、幸
ヒニ最近ニ於キマシテハ非常ニ元氣ガ
出テ參リマシタ、色々事件ト致シマシ
テハ、世ノ中ノ人々ガ十分御安心ノ出
來ル程度ニハマダ至ツテ居リマセヌ
ガ、個々ノ警察官ノ事件ニ對スル態度
ニ付キマシテハ、相當從來ニモ見ラレ
ナイヤウナ元氣ノアル復興振リヲ見セ
テ居ル面ガアリマシテ、私非常ニ嬉シ
ク存ジテ居リマス、此ノ事ハ最近ニ於
ケル情勢カラ致シマシテ、一般國民各
位ノ警察ニ對スル理解ガ深マツテ來タ
コトト相俟ツテ、サウシタ傾向ニナツ

バ、承リタイト思ヒマス
○淺淵説明員 只今警察官ニ對シマシ
テ非常ニ御理解ノアル御話ヲ伺ヒマシ
タガ、昨日來新聞記事、又議會方面ニ
モ御配リシテ居リマスヤウニ、内務省
ト致シマシテハ、現在ノ警察力ヲ其ノ
少イ員數デ、而モ時代ノ要求デアル民
主化スル方面ト同時ニ、其ノ増分ケノ
非常ニ難カシ警察活動ノ強化ト云フ
コトニ付キマシテ、苦心ヲ致シマシタ
案ヲ御示シ致シテ居ル譯デアリマス、
要點ハ御話戴キマシタヤウニ、質ト數
トノ問題デアリマス、數ノ問題ハ御話
ノヤウニ簡單ニ參ラナイノデアリマ
ス、色々ノ方法デ此ノ方面ノ折衝モ致
シテ居ルノデアリマスガ、差當リハ質
ノ問題ヲ改善スルヨリ途ガナイノデア
リマス、ソレニ付キマシテハ教養機關
ノ擴充、是ハ相當年月ノ掛ルコトデア
リマスガ、ドウシテモ此ノ方面ノ努力
ヲシナケレバナラヌ、サウシテ同時ニ
氣魄ノ取返シト云フコトガ極メテ必要
デアラウト思ヒマス、戰爭後ニ於キマ
シテ色々ノ社會情勢カラ致シマシテ、
警察官ガ一時元氣ガナクナツタト思ヒ
マス、實際ヤルベキコトニ付テモ遠慮
スルト云フヤウナ傾向ガアリマス、幸
ヒニ最近ニ於キマシテハ非常ニ元氣ガ
出テ參リマシタ、色々事件ト致シマシ
テハ、世ノ中ノ人々ガ十分御安心ノ出
來ル程度ニハマダ至ツテ居リマセヌ
ガ、個々ノ警察官ノ事件ニ對スル態度
ニ付キマシテハ、相當從來ニモ見ラレ
ナイヤウナ元氣ノアル復興振リヲ見セ
テ居ル面ガアリマシテ、私非常ニ嬉シ
ク存ジテ居リマス、此ノ事ハ最近ニ於
ケル情勢カラ致シマシテ、一般國民各
位ノ警察ニ對スル理解ガ深マツテ來タ
コトト相俟ツテ、サウシタ傾向ニナツ

バ、承リタイト思ヒマス
○淺淵説明員 只今警察官ニ對シマシ
テ非常ニ御理解ノアル御話ヲ伺ヒマシ
タガ、昨日來新聞記事、又議會方面ニ
モ御配リシテ居リマスヤウニ、内務省
ト致シマシテハ、現在ノ警察力ヲ其ノ
少イ員數デ、而モ時代ノ要求デアル民
主化スル方面ト同時ニ、其ノ増分ケノ
非常ニ難カシ警察活動ノ強化ト云フ
コトニ付キマシテ、苦心ヲ致シマシタ
案ヲ御示シ致シテ居ル譯デアリマス、
要點ハ御話戴キマシタヤウニ、質ト數
トノ問題デアリマス、數ノ問題ハ御話
ノヤウニ簡單ニ參ラナイノデアリマ
ス、色々ノ方法デ此ノ方面ノ折衝モ致
シテ居ルノデアリマスガ、差當リハ質
ノ問題ヲ改善スルヨリ途ガナイノデア
リマス、ソレニ付キマシテハ教養機關
ノ擴充、是ハ相當年月ノ掛ルコトデア
リマスガ、ドウシテモ此ノ方面ノ努力
ヲシナケレバナラヌ、サウシテ同時ニ
氣魄ノ取返シト云フコトガ極メテ必要
デアラウト思ヒマス、戰爭後ニ於キマ
シテ色々ノ社會情勢カラ致シマシテ、
警察官ガ一時元氣ガナクナツタト思ヒ
マス、實際ヤルベキコトニ付テモ遠慮
スルト云フヤウナ傾向ガアリマス、幸
ヒニ最近ニ於キマシテハ非常ニ元氣ガ
出テ參リマシタ、色々事件ト致シマシ
テハ、世ノ中ノ人々ガ十分御安心ノ出
來ル程度ニハマダ至ツテ居リマセヌ
ガ、個々ノ警察官ノ事件ニ對スル態度
ニ付キマシテハ、相當從來ニモ見ラレ
ナイヤウナ元氣ノアル復興振リヲ見セ
テ居ル面ガアリマシテ、私非常ニ嬉シ
ク存ジテ居リマス、此ノ事ハ最近ニ於
ケル情勢カラ致シマシテ、一般國民各
位ノ警察ニ對スル理解ガ深マツテ來タ
コトト相俟ツテ、サウシタ傾向ニナツ

バ、承リタイト思ヒマス
○淺淵説明員 只今警察官ニ對シマシ
テ非常ニ御理解ノアル御話ヲ伺ヒマシ
タガ、昨日來新聞記事、又議會方面ニ
モ御配リシテ居リマスヤウニ、内務省
ト致シマシテハ、現在ノ警察力ヲ其ノ
少イ員數デ、而モ時代ノ要求デアル民
主化スル方面ト同時ニ、其ノ増分ケノ
非常ニ難カシ警察活動ノ強化ト云フ
コトニ付キマシテ、苦心ヲ致シマシタ
案ヲ御示シ致シテ居ル譯デアリマス、
要點ハ御話戴キマシタヤウニ、質ト數
トノ問題デアリマス、數ノ問題ハ御話
ノヤウニ簡單ニ參ラナイノデアリマ
ス、色々ノ方法デ此ノ方面ノ折衝モ致
シテ居ルノデアリマスガ、差當リハ質
ノ問題ヲ改善スルヨリ途ガナイノデア
リマス、ソレニ付キマシテハ教養機關
ノ擴充、是ハ相當年月ノ掛ルコトデア
リマスガ、ドウシテモ此ノ方面ノ努力
ヲシナケレバナラヌ、サウシテ同時ニ
氣魄ノ取返シト云フコトガ極メテ必要
デアラウト思ヒマス、戰爭後ニ於キマ
シテ色々ノ社會情勢カラ致シマシテ、
警察官ガ一時元氣ガナクナツタト思ヒ
マス、實際ヤルベキコトニ付テモ遠慮
スルト云フヤウナ傾向ガアリマス、幸
ヒニ最近ニ於キマシテハ非常ニ元氣ガ
出テ參リマシタ、色々事件ト致シマシ
テハ、世ノ中ノ人々ガ十分御安心ノ出
來ル程度ニハマダ至ツテ居リマセヌ
ガ、個々ノ警察官ノ事件ニ對スル態度
ニ付キマシテハ、相當從來ニモ見ラレ
ナイヤウナ元氣ノアル復興振リヲ見セ
テ居ル面ガアリマシテ、私非常ニ嬉シ
ク存ジテ居リマス、此ノ事ハ最近ニ於
ケル情勢カラ致シマシテ、一般國民各
位ノ警察ニ對スル理解ガ深マツテ來タ
コトト相俟ツテ、サウシタ傾向ニナツ

バ、承リタイト思ヒマス
○淺淵説明員 只今警察官ニ對シマシ
テ非常ニ御理解ノアル御話ヲ伺ヒマシ
タガ、昨日來新聞記事、又議會方面ニ
モ御配リシテ居リマスヤウニ、内務省
ト致シマシテハ、現在ノ警察力ヲ其ノ
少イ員數デ、而モ時代ノ要求デアル民
主化スル方面ト同時ニ、其ノ増分ケノ
非常ニ難カシ警察活動ノ強化ト云フ
コトニ付キマシテ、苦心ヲ致シマシタ
案ヲ御示シ致シテ居ル譯デアリマス、
要點ハ御話戴キマシタヤウニ、質ト數
トノ問題デアリマス、數ノ問題ハ御話
ノヤウニ簡單ニ參ラナイノデアリマ
ス、色々ノ方法デ此ノ方面ノ折衝モ致
シテ居ルノデアリマスガ、差當リハ質
ノ問題ヲ改善スルヨリ途ガナイノデア
リマス、ソレニ付キマシテハ教養機關
ノ擴充、是ハ相當年月ノ掛ルコトデア
リマスガ、ドウシテモ此ノ方面ノ努力
ヲシナケレバナラヌ、サウシテ同時ニ
氣魄ノ取返シト云フコトガ極メテ必要
デアラウト思ヒマス、戰爭後ニ於キマ
シテ色々ノ社會情勢カラ致シマシテ、
警察官ガ一時元氣ガナクナツタト思ヒ
マス、實際ヤルベキコトニ付テモ遠慮
スルト云フヤウナ傾向ガアリマス、幸
ヒニ最近ニ於キマシテハ非常ニ元氣ガ
出テ參リマシタ、色々事件ト致シマシ
テハ、世ノ中ノ人々ガ十分御安心ノ出
來ル程度ニハマダ至ツテ居リマセヌ
ガ、個々ノ警察官ノ事件ニ對スル態度
ニ付キマシテハ、相當從來ニモ見ラレ
ナイヤウナ元氣ノアル復興振リヲ見セ
テ居ル面ガアリマシテ、私非常ニ嬉シ
ク存ジテ居リマス、此ノ事ハ最近ニ於
ケル情勢カラ致シマシテ、一般國民各
位ノ警察ニ對スル理解ガ深マツテ來タ
コトト相俟ツテ、サウシタ傾向ニナツ

テ居ルコトと思ヒマスガ、我々ト致シ
マシテハ、更ニ待遇ノ改善其ノ他ニ付
キマシテ努力致シマシテ、警察官ガ後
顧ノ憂ヒナク活動ノ出來ルヤウニ致シ
タイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマ
ス、甚ダ抽象的ナ御答ヘデアリマスガ、
現在我々ノ考ヘテ居リマスコトヲ一言
申上ゲタ次第デアリマス

合ニ依ツテハ感心出來ナイヤウナ事態
ガ起ルコトヲ憂ヘルノデアリマス、隨
テ是等ノ問題ヲ今直ニ解決スルト云
フコトハ、結局我々日本國ノ問題ダケ
デナクシテ、進駐軍ノ問題デモナイカ
ト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ
問題ハ相當大キク取上ゲテ檢討シナケ
レバナナイ問題ダト思ヒマス、隨テ
此ノ問題ハ日本國民ノ現在ノ終戦後ヤ
ツト取戻シタリテ著者ヲ、更ニ深く持
耐ヘサセル爲メ質問デアリマスカラ、
左様御諒承ヲ得タイノデアリマス、新
聞紙其ノ他ニ依ツテ色々ナコトガ報道
サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ事件
ノ内容ハドウ云フヤウナ性質ノモノ
デ、ドノ程度ノモノデアルカ、是モ御
差支ヘナイ範圍ニ於テ御答ヘテ戴キ
タイト思ヒマス

持ツテ、相當ナ人員ヲ擁シテ出動シタ
ト云フ結果ニナツタノデハナイカト云
フヤウニ、私共ハ想像シテ居ルノデア
リマスガ、之ニ對シマシテハ、警視廳
ノ方デ相當準備ヲ致シテ、事前ノ聴キ
込ニ依ツテ對策ヲ立テテ居リマシテ、
其ノ結果現在二十數名警視廳ニ於テ取
調ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デアリマ
ス、其ノ間警察官ガ數名ノ負傷者ヲ出
シテ居ルト云フヤウナ結果ニナツテ居
リマス、サウシテ現在御承知ノヤウニ、
新橋、澁谷ノ兩市場ガ閉鎖ヲ命ゼラレ
テ居ルト云フ結果ニナツテ居リマス

武器ヲ棄テタ日本、是ハヤハリ警察官
ニ依ツテ護ツテ行カレバナラヌ、
ドウカ此ノ私ノ氣持ヲ一ツ全國警察官
ニ懇ヘテ戴キタイ
是デ大體警察關係ハ終ル譯デアリマ
スガ、關聯シテ司法當局ニ對シマシテ
御伺ヒ致シタイコトハ、選舉取締ノ問
題デアリマス、社會不安ヲ醸成スル原
因ハ各種各様デアリマスルケレドモ、
選舉ガ公正ニ行ハレタカドウカ、殊
ニ國會議員ノ選舉ニ於テハ——日本ノ
國ノ凡ニ法律ノ基本ガ帝國議會ニ於
テ決セラレルノデアリマスカラ、其ノ
帝國議會ノ構成員デアアル所ノ代議士ノ
選舉ニ於キマシテハ、最モ公正デナク
レバナラヌト云フコトハ當然デアリマ
ス、併シ是ハ立候補シタ者ガ公正ナル
コトニ努力スルコトモ勿論デアルガ、
若シ萬一其ノ間不正ガアツタナラバ、
檢察當局トシテハ斷乎トシテ之ヲ排撃
シナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ間
ノ選舉ニ於キマシテハ、勿論關係筋其
ノ他ノ方々ノ意見モアルコトハ思ヒ
マスガ、殆ド選舉中ハ取締ヲ放任シテ
居ツタノデアリマス、斯ウ云フコトハ
私ハ面白クナイト思フ、特ニ顯著ナル
問題等ガアリマシタ時ニ、勿論警察官
ガ此ノ警察權ヲ發動スル場合ニハ、或
ハ選舉干渉ト云フヤウナコトガ取沙汰
サレルカモ知レナイガ、司法當局トシ
テ色々ナ投書ガアリ、聴キ込ガアルト
思フ、ソレ等ニ對シテハ斷乎タル態度
ヲ以テ、今後ノ選舉ニハ臨ンデ戴キタ
イト思フノデアリマス、又司法省等ニ
付キマシテモ、相當投書ガアリマス、
此ノ投書ノ内容ヲ吟味シテ見ルト、匿名
ノモノト記名ノモノトアル、併シ匿名
ノモノハ恐ラク故意ノモノカ、取ルニ
足ラヌモノガ全部ダト思フ、隨テ今後

モウ一ツハ、現在展開サレテ居リマ
スル澁谷、新橋方面ノ日本國民ト非日
本國民トノ葛藤ノ問題デアリマスガ、
之ヲ取上ゲル前ニ、私ハ自分ノ考ヘヲ
一應申上ゲヌト、或ハ世ノ中ノ誤解ヲ
受ケルノデハナイカト思フノデアリマ
スルガ、私ハ日本國民ハ先ヅ申上ゲタ
ヤウニ、「ボツダム」宣言ヲ忠實ニ履行
スル點ニ於テハ、恐ラク聯合國ハ、斯
ノ如ク忠實ナ國民デハナイト從來考ヘ
テ居ツタト思ヒマス、占領シテ見ダ初
メデ日本人ノ本當ノオトナシサ、文化
的ナ日本國民ノ在リ方ニ付テ、私ハ能
ク認識サレタコトト思フノデアリマ
ス、併シナガラ此ノ著者イタ日本國民
ノ考ヘニ、何ト云フカハ一ツノ敵愾心
ヲ與ヘテ、此ノ落著ヲ失ハセルモノハ
何カト申シマス、今マデ我々ガ統治
シテ居リマシタ民族、被統治民族ト申
シマスガ、是ガ終戦後其ノ統治ヲ解カ
レタ地位ニ置カレマシタ爲ニ、アノヤ
ウナ事件ガ惹起サレテ居ル、是等ノ事
件ヲ目ノアタリ日本國民ガ見テ、残念
ダツタ、何トカシテト云フヤウナコト
ヲ考ヘルト云フ所ニ、私ハ「ボツダム」
宣言ノ忠實ニ履行ト云フ面ニ於テ、場

合ニ依ツテハ感心出來ナイヤウナ事態
ガ起ルコトヲ憂ヘルノデアリマス、隨
テ是等ノ問題ヲ今直ニ解決スルト云
フコトハ、結局我々日本國ノ問題ダケ
デナクシテ、進駐軍ノ問題デモナイカ
ト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ
問題ハ相當大キク取上ゲテ檢討シナケ
レバナナイ問題ダト思ヒマス、隨テ
此ノ問題ハ日本國民ノ現在ノ終戦後ヤ
ツト取戻シタリテ著者ヲ、更ニ深く持
耐ヘサセル爲メ質問デアリマスカラ、
左様御諒承ヲ得タイノデアリマス、新
聞紙其ノ他ニ依ツテ色々ナコトガ報道
サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ事件
ノ内容ハドウ云フヤウナ性質ノモノ
デ、ドノ程度ノモノデアルカ、是モ御
差支ヘナイ範圍ニ於テ御答ヘテ戴キ
タイト思ヒマス

持ツテ、相當ナ人員ヲ擁シテ出動シタ
ト云フ結果ニナツタノデハナイカト云
フヤウニ、私共ハ想像シテ居ルノデア
リマスガ、之ニ對シマシテハ、警視廳
ノ方デ相當準備ヲ致シテ、事前ノ聴キ
込ニ依ツテ對策ヲ立テテ居リマシテ、
其ノ結果現在二十數名警視廳ニ於テ取
調ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デアリマ
ス、其ノ間警察官ガ數名ノ負傷者ヲ出
シテ居ルト云フヤウナ結果ニナツテ居
リマス、サウシテ現在御承知ノヤウニ、
新橋、澁谷ノ兩市場ガ閉鎖ヲ命ゼラレ
テ居ルト云フ結果ニナツテ居リマス

武器ヲ棄テタ日本、是ハヤハリ警察官
ニ依ツテ護ツテ行カレバナラヌ、
ドウカ此ノ私ノ氣持ヲ一ツ全國警察官
ニ懇ヘテ戴キタイ
是デ大體警察關係ハ終ル譯デアリマ
スガ、關聯シテ司法當局ニ對シマシテ
御伺ヒ致シタイコトハ、選舉取締ノ問
題デアリマス、社會不安ヲ醸成スル原
因ハ各種各様デアリマスルケレドモ、
選舉ガ公正ニ行ハレタカドウカ、殊
ニ國會議員ノ選舉ニ於テハ——日本ノ
國ノ凡ニ法律ノ基本ガ帝國議會ニ於
テ決セラレルノデアリマスカラ、其ノ
帝國議會ノ構成員デアアル所ノ代議士ノ
選舉ニ於キマシテハ、最モ公正デナク
レバナラヌト云フコトハ當然デアリマ
ス、併シ是ハ立候補シタ者ガ公正ナル
コトニ努力スルコトモ勿論デアルガ、
若シ萬一其ノ間不正ガアツタナラバ、
檢察當局トシテハ斷乎トシテ之ヲ排撃
シナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ間
ノ選舉ニ於キマシテハ、勿論關係筋其
ノ他ノ方々ノ意見モアルコトハ思ヒ
マスガ、殆ド選舉中ハ取締ヲ放任シテ
居ツタノデアリマス、斯ウ云フコトハ
私ハ面白クナイト思フ、特ニ顯著ナル
問題等ガアリマシタ時ニ、勿論警察官
ガ此ノ警察權ヲ發動スル場合ニハ、或
ハ選舉干渉ト云フヤウナコトガ取沙汰
サレルカモ知レナイガ、司法當局トシ
テ色々ナ投書ガアリ、聴キ込ガアルト
思フ、ソレ等ニ對シテハ斷乎タル態度
ヲ以テ、今後ノ選舉ニハ臨ンデ戴キタ
イト思フノデアリマス、又司法省等ニ
付キマシテモ、相當投書ガアリマス、
此ノ投書ノ内容ヲ吟味シテ見ルト、匿名
ノモノト記名ノモノトアル、併シ匿名
ノモノハ恐ラク故意ノモノカ、取ルニ
足ラヌモノガ全部ダト思フ、隨テ今後

ハ匿名ノ投書ノ如キモノハ決シテ取上
ゲナイ、併シソコニ堂々ト自己ノ名前
ヲ書キ、或ハ本人自ラ警察官署ヘ行ッ
テ申告シタモノデアルナラバ、ソレハ
特ニ徹底的ニ、選舉後ト雖モ搜索シテ
實ハナケレバナラヌ、又サウ云フヤウ
ナコトヲ警察官ニ申出タ者ガアルニモ
拘ラズ、之ヲ警察官署ガ握リ潰スト云
フヤウナ事件ガアツタ時ニハ、司法省
トシテハドウ云フ態度ヲ御執リニナル
カ、私ハ此ノ點ニ付テ司法當局ノ御答
辯ヲ得タイノデアリマス

ハ匿名ノ投書ノ如キモノハ決シテ取上
ゲナイ、併シソコニ堂々ト自己ノ名前
ヲ書キ、或ハ本人自ラ警察官署ヘ行ッ
テ申告シタモノデアルナラバ、ソレハ
特ニ徹底的ニ、選舉後ト雖モ搜索シテ
實ハナケレバナラヌ、又サウ云フヤウ
ナコトヲ警察官ニ申出タ者ガアルニモ
拘ラズ、之ヲ警察官署ガ握リ潰スト云
フヤウナ事件ガアツタ時ニハ、司法省
トシテハドウ云フ態度ヲ御執リニナル
カ、私ハ此ノ點ニ付テ司法當局ノ御答
辯ヲ得タイノデアリマス

モウ一ツハ、現在展開サレテ居リマ
スル澁谷、新橋方面ノ日本國民ト非日
本國民トノ葛藤ノ問題デアリマスガ、
之ヲ取上ゲル前ニ、私ハ自分ノ考ヘヲ
一應申上ゲヌト、或ハ世ノ中ノ誤解ヲ
受ケルノデハナイカト思フノデアリマ
スルガ、私ハ日本國民ハ先ヅ申上ゲタ
ヤウニ、「ボツダム」宣言ヲ忠實ニ履行
スル點ニ於テハ、恐ラク聯合國ハ、斯
ノ如ク忠實ナ國民デハナイト從來考ヘ
テ居ツタト思ヒマス、占領シテ見ダ初
メデ日本人ノ本當ノオトナシサ、文化
的ナ日本國民ノ在リ方ニ付テ、私ハ能
ク認識サレタコトト思フノデアリマ
ス、併シナガラ此ノ著者イタ日本國民
ノ考ヘニ、何ト云フカハ一ツノ敵愾心
ヲ與ヘテ、此ノ落著ヲ失ハセルモノハ
何カト申シマス、今マデ我々ガ統治
シテ居リマシタ民族、被統治民族ト申
シマスガ、是ガ終戦後其ノ統治ヲ解カ
レタ地位ニ置カレマシタ爲ニ、アノヤ
ウナ事件ガ惹起サレテ居ル、是等ノ事
件ヲ目ノアタリ日本國民ガ見テ、残念
ダツタ、何トカシテト云フヤウナコト
ヲ考ヘルト云フ所ニ、私ハ「ボツダム」
宣言ノ忠實ニ履行ト云フ面ニ於テ、場

合ニ依ツテハ感心出來ナイヤウナ事態
ガ起ルコトヲ憂ヘルノデアリマス、隨
テ是等ノ問題ヲ今直ニ解決スルト云
フコトハ、結局我々日本國ノ問題ダケ
デナクシテ、進駐軍ノ問題デモナイカ
ト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ
問題ハ相當大キク取上ゲテ檢討シナケ
レバナナイ問題ダト思ヒマス、隨テ
此ノ問題ハ日本國民ノ現在ノ終戦後ヤ
ツト取戻シタリテ著者ヲ、更ニ深く持
耐ヘサセル爲メ質問デアリマスカラ、
左様御諒承ヲ得タイノデアリマス、新
聞紙其ノ他ニ依ツテ色々ナコトガ報道
サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ事件
ノ内容ハドウ云フヤウナ性質ノモノ
デ、ドノ程度ノモノデアルカ、是モ御
差支ヘナイ範圍ニ於テ御答ヘテ戴キ
タイト思ヒマス

持ツテ、相當ナ人員ヲ擁シテ出動シタ
ト云フ結果ニナツタノデハナイカト云
フヤウニ、私共ハ想像シテ居ルノデア
リマスガ、之ニ對シマシテハ、警視廳
ノ方デ相當準備ヲ致シテ、事前ノ聴キ
込ニ依ツテ對策ヲ立テテ居リマシテ、
其ノ結果現在二十數名警視廳ニ於テ取
調ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デアリマ
ス、其ノ間警察官ガ數名ノ負傷者ヲ出
シテ居ルト云フヤウナ結果ニナツテ居
リマス、サウシテ現在御承知ノヤウニ、
新橋、澁谷ノ兩市場ガ閉鎖ヲ命ゼラレ
テ居ルト云フ結果ニナツテ居リマス

武器ヲ棄テタ日本、是ハヤハリ警察官
ニ依ツテ護ツテ行カレバナラヌ、
ドウカ此ノ私ノ氣持ヲ一ツ全國警察官
ニ懇ヘテ戴キタイ
是デ大體警察關係ハ終ル譯デアリマ
スガ、關聯シテ司法當局ニ對シマシテ
御伺ヒ致シタイコトハ、選舉取締ノ問
題デアリマス、社會不安ヲ醸成スル原
因ハ各種各様デアリマスルケレドモ、
選舉ガ公正ニ行ハレタカドウカ、殊
ニ國會議員ノ選舉ニ於テハ——日本ノ
國ノ凡ニ法律ノ基本ガ帝國議會ニ於
テ決セラレルノデアリマスカラ、其ノ
帝國議會ノ構成員デアアル所ノ代議士ノ
選舉ニ於キマシテハ、最モ公正デナク
レバナラヌト云フコトハ當然デアリマ
ス、併シ是ハ立候補シタ者ガ公正ナル
コトニ努力スルコトモ勿論デアルガ、
若シ萬一其ノ間不正ガアツタナラバ、
檢察當局トシテハ斷乎トシテ之ヲ排撃
シナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ間
ノ選舉ニ於キマシテハ、勿論關係筋其
ノ他ノ方々ノ意見モアルコトハ思ヒ
マスガ、殆ド選舉中ハ取締ヲ放任シテ
居ツタノデアリマス、斯ウ云フコトハ
私ハ面白クナイト思フ、特ニ顯著ナル
問題等ガアリマシタ時ニ、勿論警察官
ガ此ノ警察權ヲ發動スル場合ニハ、或
ハ選舉干渉ト云フヤウナコトガ取沙汰
サレルカモ知レナイガ、司法當局トシ
テ色々ナ投書ガアリ、聴キ込ガアルト
思フ、ソレ等ニ對シテハ斷乎タル態度
ヲ以テ、今後ノ選舉ニハ臨ンデ戴キタ
イト思フノデアリマス、又司法省等ニ
付キマシテモ、相當投書ガアリマス、
此ノ投書ノ内容ヲ吟味シテ見ルト、匿名
ノモノト記名ノモノトアル、併シ匿名
ノモノハ恐ラク故意ノモノカ、取ルニ
足ラヌモノガ全部ダト思フ、隨テ今後

ハ匿名ノ投書ノ如キモノハ決シテ取上
ゲナイ、併シソコニ堂々ト自己ノ名前
ヲ書キ、或ハ本人自ラ警察官署ヘ行ッ
テ申告シタモノデアルナラバ、ソレハ
特ニ徹底的ニ、選舉後ト雖モ搜索シテ
實ハナケレバナラヌ、又サウ云フヤウ
ナコトヲ警察官ニ申出タ者ガアルニモ
拘ラズ、之ヲ警察官署ガ握リ潰スト云
フヤウナ事件ガアツタ時ニハ、司法省
トシテハドウ云フ態度ヲ御執リニナル
カ、私ハ此ノ點ニ付テ司法當局ノ御答
辯ヲ得タイノデアリマス

マセヌガ、昭和十七年ノ東條選舉ト言ハル、アノ惡シイ彈壓ヲ加ヘマシタル選舉ノ當時ヨリモ、今回行ヒマシタル選舉ハ、此ノ選舉違反ト云フモノハ非常ニ多數ニ上ツテ居ルデゴザイマス、併シナガラ只今此選舉中ニ於テモ投票ガアル、投票ニハ記名ト無記名トガアル等デアル、之ヲ申告シタ場合ニ於テ、ソレヲ警察當局ニ於テ取扱ガ一、二ニナルト云フヤウナ考ヘ方モアルデハナイカト云フヤウナコトガ御想像ノ御意見ノヤウデアリマスガ、從來勿論公正ナルベキ所ノ檢察當局ガ、假令投票ヲ檢舉ノ相當ナル參考資料ト假ニスル場合ニ於キマシテモ、判斷ノ資料ニ於テ、又人ニ依ツテ甲乙ニサレルヤウナ不正ナル所ノ檢舉、檢察ノ方針ヲ執ツタコトハ斷ジテナイデアリマス、ソコデ今後ト雖モ、選舉ニ臨ミマシテ、其ノ違反事實ノ檢舉ナドニ對シマシテハ、勿論公正ヲ期スルコトハ固ヨリデアルデアリマス、併シ私共ノ實際ノ經驗カラ考ヘマシテモ、此ノ選舉ニ對スル違反事件ト云フモノハ、中々理論ト實際ト云フモノトノ裏表ハ困難ナル事件デゴザイマシテ今回行ハレタル所ノ選舉ノ如キ、アノ空氣ノ中ニ於ケル所ノ選舉ノ檢舉方針ナルモノハ、實際第一線ニ立ツテ居ル所ノ其ノ苦心ト云フモノモ、相當御考ヘ願ツテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、併シ現ニ只今御質問ノ關係カラ、更ニ一言加ヘテ置クデアリマスガ、今回ノ事件ニ致シマシテモ、出來ルダケ今回ノ選舉ノ精神ニ則リマシテ、此ノ事犯ノ解決ニ向ヒマシテモ、例ヘバ無用ナル所ノ拘留ノ如キハ一日モ早く打切ツテ、而モ又當然代議士ノ人達デ、此ノ檢舉ノ手ニ掛ツテ居ラレタト云フヤウナ人達

デモ、此ノ憲法議會ノ如キニ於テハ直グニ御出席ガ得ラレルヤウニ、司法省ノ方針ト致シマシテモ、非常ナ苦心ノ方針ヲ實行致シテ參ツテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、ソコデ第一線ノ警察官ノ檢舉ハ、此ノ選舉違反ニ對スル檢舉云々ト云フヤウナ御言葉ニ對シテハ、是ハ所謂簡單ナル泥棒カ何カヲ檢舉スルト云フヤウナ、ソノナ生易シ性質ノ事柄デアリマセヌカラ、選舉違反事件ト云フ本質ニ鑑ミマシテ、當局モ實ニ苦心ヲ拂ツテ、將來御質問ノヤウナ憂ヘガナイヤウニ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、一言御答ヘ致シマス

○青木(清)委員 私ハ來ルベキ幾ツカノ選舉ヲ迎ヘマシテ、ドウシテモ金ガナクテモ、又努力ガナクテモ、理想的な法ノ認メル範圍内ニ於テ、選舉戰ニ立ツタ者ハ必ず勝ツ時代ヲ作りタリ、其ノ時代ヲ作ラナケレバ、ヤハリ現在ノ政治ト云フモノニ對スル國民ノ信頼ノ念ガ缺ケル、政治ニ對スル國民ノ信頼ノ念ガ缺ケレバ、隨テソレガ社會不安ノ一翼ヲナスモノデアルト云フヤウナ立場カラ、只今御質問致シマシテハ、此ノ日本人ト非日本人トノ闘爭ノ問題ニ付キマシテモ、國家ノ重大ナ觀點カラ、決シテ私ハ日本國民ヲ壓迫セヨト云フノデハナイデアリマス、唯此ノ社會不安ノ除去ニ向ツテ、公正ナ警察官ノ御活動ヲ御願ヒシテ、司法關係ノ質疑ハ終リマス

次ニ復員關係ニ參リマスガ、是ハ此ノ前ノ會議ノ時ニ御質疑申上デゴウト思ツタノデスガ、其ノ機會ガナカツタノデアリマスガ、現在日本ノ軍隊ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌ

ガ、昔ノ軍隊デアリマス、是ガ何處カノ土地ニ於テマダ「ゲリラ」戰ト云フカ、戰爭ヲ續ケテ居ル所ガアルト云フコトヲ仄カニ聞イテ居ルデアリマス、ソノ下ノ地區ニ於テドノヤウナモノガ行ハレテ居ルカ、又之ヲ何トカシテ止メサセル方法ガナイカト云フコトニ付テ、先ヅ御聽キシタイト思ヒマス

○荒尾政府委員 停戰ノ事實ヲ知ラズニ戰ツテ居ル者ガナイカト云フコトデゴザイマスガ、世評ニ上ツテ居リマス狀況ヲ多少申上ゲマス、第一ハ比島方面ニ於キマシテ、「レイテ」方面カラ歸リマシタ者ノ色々ナ話カラ、相當數ノ者ガ歸國シテ居ルト云フヤウナ情報ガアリマスガ、其ノ後段々確メマシタ所、サウ云フ大キナ數字ハ居ラナイト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、本件ニ關シマシテ「アメリカ」ノ軍司令部ト能ク情報ヲ御打合セラシマシタ結果デハ、向ノ側ハ非常ニ少イヤウニ感ジテ居ルヤウデアリマス、即チ二、三百モ居ルマイト云フコトデアリマス「ダラム」島ニ於キマシテハ、當初四、五十人「ゲリラ」戰ヲヤツテ居ルト云フ話ガアリマシタガ、其ノ一部ハ收容セラレテ居リマシテ、殘ツテ居ル者ハ極メテ僅少デ、アルカナイカト判斷シテ居リマス、「サイパン」島ニ於キマシテモ數名ノ者ガ山地ニ殘ツタト云フ斷片的情勢ガアリマシタガ、其ノ後「ザン」マセヌ、「モロタイ」島ニ於キマシテハ、二十五名前後ノ者ガ停戰後戰闘シテ居ルト云フ情報ガアリマシタガ、其ノ後情報ハアリマセヌ、大體以上ノヤウナモノデ、實際ノ數字ハ御想像ヨリハ遙カニ少イモノト思ヒマスガ、一名デモアリマシタナラば終戰ノ方針ニ服シテ居ラヌト云フコトニナリマスノデ、現地

ノ部隊ト致シマシテハ、現地ノ米軍ノ協力ヲ得マシテ、極力是等ヲ收容スルコトニ努力ヲシテ參リマシタ、部隊ガ出發ヲ命セラレマシテ、尙ホ心残りノアル者ニ付キマシテハ、現地軍ニ搜索ノ續行ヲ依頼シテ歸ツテ居リマス、中央ニ於キマシテハ、東京ノ司令部ニ對シマシテ是等ノ搜索ニ關シ十分ナル理解ヲ得ルヤウニ、從來協議ヲ進メテ居リマス、本件ニ關シマシテ「アメリカ」ノ司令部ニ於キマシテハ、聯合軍自身ガ自國ノ行衛不明者、死者等ノ搜索ヲ爲ニ相當大規模ノ搜索ヲ實施シテ居リマス、此ノ搜索ノ中ニ日本軍ノ部隊ト連絡取レズ、尙ホ斯ウ云フヤウニ山ノ中ニ殘ツテ居ル者ニ對シテハ、飛行機ニ依リビラノ撒布、「ラジオ」放送、或ハ現地ノ日本軍人、邦人等ヲ利用致シマシテ、廣汎ナ組織ノ中ニ續込シテ、是等ノ救出ニ御協力ヲシテ戴イテ居ルノハ、極メテ力強イ次第デアリマシテ、其ノ點御傳ヘシテ置キマス

○青木(清)委員 是等ノ人々ハ、萬一生キテ歸レバ、私ハ平和ノ時代ニ於テハ、又日本ノ國ニ於テ平和ノ方面ニ活躍スル上ニ於テハ、決シテ人後ニ落ナナイ有爲ナル人材ト思フデアリマシテ、斯ウ云フ人ヲ死ナセルノハ非常ニ惜シイト思ヒマス、隨テ政府ト致シマシテハ、是ガ戰爭ノ中止及ビ復歸ニ付テハ、萬遺憾ナイヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

其ノ次ハ所謂平和國家ヲ建設スル上ニ於テ、過去ノ戰爭ト云フモノガドウ云フモノデアツタカト云フコトヲ、國民ニハツキリ知ラセルノハ道ダト思フ、是モ或ハ私ノ質問ニ對シテ、全面的な御答ヘハ願ヘナイカトモ思フノデアリマスガ、過去ニ於ケル大本營ノ發表ト實際トノ食運ヒニ付テ、私ハ聽キタイノデアリマス、又是ガ今一々數字のニ御答ヘヲ願フコトガ出來ナケレバ、或ベク出來ル範圍ニ於ケル作戰ノ實際ト、大本營ノ發表トノ食運ヒニ付テ御指示ヲ願ツタ方ガ、國民ガ平和國家ヲ作ル上ニ於テ、非常ニ參考トナルト思フノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○荒尾政府委員 大變難カシイ御質問ダト思ヒマス、只今私ノ役所ト致シマシテハ、聯合軍ノ要求ニ基キマシテ、過去ノ事實ノ一切ノモノヲ記述致シマシテ提出ヲ致シテ居リマス、其ノ記錄ヲ讀ミマシタ感ジデハ、過去ノ發表ハ迅速ト云フ點ヲ要望サレテ居ツタコトト、發表スル數字ニ付キマシテハ、日本軍側ニ關スルコトハ大體發表シタ範圍ハ正シイノデヤナイカト思ヒマスガ、發表漏レノ部分ガアルト思ヒマス、ソレカラ當時ノ敵側ニ對スル發表ハ、コナラデ相當ノ正確サニ差ヲ付ケテ發表サレテ居ルト思ヒマスガ、是ハ飽マデ向フ側ノコトデアリマスノデ、過去ノ戰史ハ、何處ノ國デモ爾後數年掛リマシテ是等ノ資料ヲ整備シテ、彼我ノ戰史ヲ突合セテ研究スルコトニナツテ居リマスルカラ、過去ノ大本營發表ト現在ノ發表トニ於テ、ドウ云フ風ナ具體的な差ガアルカト云フコトヲ此處デ申上ゲルコトハ、今ノヤウナザツトシタコトナラ申上ゲラレマスガ、具體的事例トシテハ頗ル御答ヘシ難イ問題ダト思ヒマス、斯ウ云フ點ト指定シテ戴キマスレバ御答ヘ申上ゲマス

○青木(清)委員 此ノ點ニ付テハ本席ニ於ケル質問ハ此ノ程度ニシテ置キマシテ、又出來ル範圍ノ御發表ヲ適當ナ時ニ御願ヒスルコトニ致シマス

次ハ農林省關係ニ參リマス、現在ノ社會不安ヲ招イテ居ル原因ハ、何ト云フテモ私ハ主食ノ缺乏デアルト考ヘテ居リマス、ソレデ主食ノ供出ヲ圓滑ニシサヘスレバ、或ハ主食ノ輸入等ヲ促進シサヘスレバ、現在ノ社會不安ハ除テサレルノデハナイカト云フコトヲ前提トシテ考ヘテ居リマスノデ、私ハ農林當局ニ御尋ネシタイノデアリマス、米ノ供出ニ對スル強權發動ニ對シテハ、農民暴ヲテ反對デアアル、又本院ニ於キマシテモ、此ノ問題ニ付テ食糧問題緊急措置令ニ關スル委員會ニ於キマシテ、相當ノ意見ガ續出シテ居ルノデアリマス、併シナガラ日本ノ食糧ハ聯合軍ノ方カラ補給サレテ居ルト云フ現在ヨリ見マシテ、強權ヲ發動シテ國民ノ主食ヲ國內カラ引出スト云フマデノ誠意ヲ、私ハ否決シ去ルコトハドウカト思フ、寧ロ現在ノ警察官ガ持ツテ居ル「サーベル」ヲヤウニ、現在ノ警察官ガ掛ケテ居ル拳銃ヲヤウニ、放ツコトノナキ一ツノ武器トシテ、私ハ強權發動ヲ殘サケレバナラヌト云フヤウナコトヲ考ヘル、併シナガラ此ノ主食ノ供出問題ヲ完全ニ解決シ得ナケレバ、勢ヒ強權發動ト云フモノガ濫用サレバ、處ガ出テ來ル、濫用ト云フテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、今マデニ於テモ強權發動ニ對スル農民ノ反對ト云フ事象ガ起ツテ居ルノデアリマスガ、ソレト同ジヤウナ事象ガ私ハ今後ト雖モ續ケラレバト思フ、隨テ私ハ現在ノ如キ農民ノ狀況ト供出ノ關係ヲ考ヘテ見マスルトハ、農民ノ中ニハ情農ガアル、又不正農ガアリマス、米ヲ闇賣ル農民ガアリマス、此ノ情農トカ不正農ニ對シテハ、如何ニ強權ヲ發動致シマシテモ、モウ是レ以上ノ米ハ恐ラク出ナ

イト思フ、ソレデ今後ノ國民ノ主食ハドノ方面カラ出ルカト云フト、是ハ精農家、篤農家ニ御願ヒシテオミヲ出シテ賣ハナケレバナラヌ、所ガ供出百「パーセント」シテシマツタ者ニ、ソレ以上ノ米ヲ持ツテ居ルトスレバ、ソレ以上ノ供出ヲ願フトカ、或ハ供出百「パーセント」ノ方々ニ、自分達ノ今後食ベテ行クオミヲ出シテ賣フ爲ニ、一段歩ニ對シマシテ一貫匁「アンモニア」ヲヤルトカ、或ハ地下足袋一足ヲヤルト云フヤウナ、子供騙シノ方法デハ決シテ米ハ出テ來ナイト私ハ思フ、ソレハ米三俵供出致シマシテ地下足袋一足賣テ米一足賣ツテ來ル方ガ簡單デアリマフヨリハ、米三升持ツテ行ツテ地下足袋一足賣ツテ來ル方ガ簡單デアリマス、而モ米ヲ供出致シマス、ソレニ税金ガ掛ル、サウ云フ馬鹿ナコトヲスルヨリハ、寧ロ闇賣ツタ方ガ宜イト云フヤウニ、精農ト云ヒ、篤農家ト云フヤウナ方面ノ方々マデガ、良ヤウナコトナリハセヌカト私ハ按ズルノデアリマス、政府ハ強權發動ト云フヤウナ手ニ依ラズシテ篤農家、精農家ニ保有米ヲ割ツテ出シテ賣ク爲ノ、何等カノ方法ヲ御考ヘニナツタイラツシヤルカ、之ヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○石川政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス、今御質問ノ要點ニ付キマシテハ、外ノ緊急措置ノ委員會ニ於キマシテ十分論議サレテ居ルコトニ思フノデアリマス、勿論強權制收用、所謂強權發動ト云フモノハ、仰シヤルヤウニ、是ハ一般ノ善良ナル農民ヲ目的ニシタノデハナイ、ドウシテモ世ノ中ニハ情農ガアリ、或ハ不正ナル農家ガアル、其ノ情農ナリ不正ナル農家ニ對シテハ何等カノ制裁ガナケレバ、善良ナル農民モ結局ソレニ引摺アレテシ

マフト云フヤウナ狀況ニ於キマシテハ、各市町村長トカ、或ハ其ノ他村ノ方ノ話ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、善良ナル農民ガ、寧ロサウ云フ情農トカ、不正ナル農家ノ眞似ヲスルヤウナコトニナツテハ大變デアルト云フヤウナ意味合カラシマシテ、不正ナモノニ對シテハ、ドウシテモ或ル意味デノ實刀ヲ用意シナケレバナラヌアラウト云フヤウナ意味合カラ此ノ強權發動ガ用意サレタノデアリマス、勿論今回ノ強權ノ發動ニ付キマシテ、或ハサウ云フ法律ノ趣旨ニ反スルヤウナ場合モアツタカモ知レマセヌガ、併シナガラ法律ノ趣旨ヲシマシテハ、所謂傳家ノ寶刀デアリマシテ、十軒アリ村ノ中デ九軒マデハ本當ニ出シタ、併シ一軒ハドウシテモ出サナイ、而モ物ガアツテ出ナシト云フ場合ニハ、ソレニ何等カノ制裁ガナケレバ、殘リノ出シタ者ハ馬鹿ヲ見ルト云フコトニナツテ、翌年供出ニ當然響クノデアリマスカラ、其ノ點ヲ正シタイト云フノガ當局ノ狙ヒデアリマス、併シナガラ此ノ強權發動一本槍デ行クコトハ、勿論現在ノ社會情勢、或ハ經濟情勢ニ於キマシテ、不可能デアリマス、我々ノ方ト致シマシテハ、色々ノ手此ノ手ト考ヘマシテ、結局農村ニ於キマシテ農機具デアルトカ、或ハ肥料デアルトカ、或ハ作業アルトカ云フヤウナ物ハ、容易ニ手ニ入ルヤウデアリナガラ入ラナクテ、農村ノ要求ハヤハリ熾烈ナモノガアルノデアリマス、隨ヒマシテ末端ニ行キマスト極メテ少イ、或ハ一足トカ一著トカ云フヤウナ少イ數字ニナルト思ヒマスアレドモ、出來ルダケ、場合ニ依ツテハ都市ノ需要方面ノモノヲ創ツテモ、農村ニ廻スト云フヤウナ思切

ツタ方法ニ依リマシテ、出來ルダケノサウ云フ報奨ヲ農村ニ廻ハシタイ、ソレニ依ツテ別段農民ノ御機嫌ヲ取ルト云フノデハナクテ、本當ニ農民ニ必要ナモノハ公定價格デ流サナケレバ、結局闇ノ對象ニナルト云フコトモ考慮シマシテ、供出ヲ圓滑ニスル爲ニハ、農民ノ要ルモノヲドウシテモ出サナケレバナラヌト云フ意味合カラ報奨ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラソレダケデモ尙ホ足ラナイ、斯ウ思フノデアリマシテ、最近ニ於キマシテハ各市町村ニ市町村調整委員會ト云フモノヲ設ケテ行ツテ居ルノデアリマス、從來ノ供出委員會ト云フモノモゴザイマスガ、ソレハ場合ニ依リマシテハ、或ハ地主バカリノ委員會デアツタリ、或ハ役場ノ吏員ノ委員會デアツタリシテ、色々ソコニ不正ナ構成ガアツタノデアリマスカラ、之ヲ正致シマシテ、本當ニ民主的ナ委員會ヲ作ラナケレバナラヌト云フ意味合カラ致シマシテ、市町村ノ調整委員會ト云フモノヲ作リ、是ニハ自作農、小作農、其ノ他場合ニ依ツテハ第三者モ入ルト云フヤウナ工合ニ致シマシテ、ドウ云フヤウニ割當テタナラバ最モ適當デアルカ、先程申シタヤウニ、篤農家、精農家ニ對シマシテハ、土地ノ者トシテハ是位出サナケレバナラヌ、此ノ家ニ對シマシテハ、斯ウ云フ事情ガアルカラ、是デ止メルト云フヤウナ、色々ナ地方ノ實際ノ事情ニ適シタ割當方法ヲ、又調整委員會ニ於テ決定シテ賣フ、又調整委員會ニ於キマシテハ、其ノ部落ニ必要ナ食糧ノ策定、サウシテドレダケ餘所ニ持ツテ行カレルカト云フヤウナコトマデヤツテ賣フ、サウ云フヤウニ從來ノ組織ヲ改メマシテ、本當ニ下部

カラ策定サレルヤウナ委員會ヲ置キマシテ、供出ヲ本然ノ姿ニ持ツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、マアソレダケデハ或ハ十分カモ知レマセヌガ、現在ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ色々ノ手ヲ以テマシテ、兎ニ角傳家ノ寶刀ヲ抜クコトナシニ、圓滿ニ供出ガ完了サレタイト云フヤウナコトヲ、考ヘテ居ル次第デアリマス

○青木(清)委員 只今ノ説明デハ私マデ十分デアリマス、篤農家、精農家ニ米ヲ出シテ賣フト云フコトニ付テ、實ハ私モ色々考ヘテ居ルノデアリマスガ、強權發動ト云フヤウナコトハ、所謂米ノナイ者ニ對シテ一ツノ制裁デアアル、是ハ來年、再來年ノ米ノ供出ニ對シテ影響ヲ與ヘルコトハ勿論デス、併シナガラサウ云フ方面ハ或ル程度此ノ際打切ツテシマツテ、サウシテ米ノアル方ニ助ケテ賣ハナケレバナラナイ、其ノ爲ニハ、私ハ御説明ノヤウナ現在ノ委員會ヲ作ルト云フコトモ一ツデアリマスガ、モウ一步進メテ、主食全體ヲ耕作者ト云ヒマスカ、供出者ト云ヒマスカ、其ノ一ツノ團體ニ對シテ御任カセニナツテシマツタ方ガ或ハ米ガ出ルノデハナイカト思フ、米ガ出ルノデハナクテ、日本ノ國トシテハ「マ」司令部ノ方カラ是ダケノ米ヲ受ケルダケノ諒解ガ出來タ、現在ノ人間ガ是ダケ居ツテ、是ダケノ米ヲ食フ、ダカラ百姓ノ皆サノハ、皆サノ持ツテ居ル米ヲ、十ノモノヲ七ツニスル、六ツニスル、サウシテオヒヒニ一ツ鍋ノオ粥ヲ食ベテ行カナケレバナラナイト云フコトノ、本當ノ觀念ヲ植付ケテ、自發的ニ是等ノ處置ヲスル爲ニハ、サウシタ今マデノ供出委員會ノ唯燒直シノヤウ

ナ姑息ナ方法デハ、私ハ絕對ニ駄目ダ
ト思フ、根本ノ主食ノ農民管理ヲ行
フ、又農民自身ニ管理サセルコトモ一
方ニ偏スルカモ分リマセヌカラ、消費
者ノ方々モ「オブザーバー」トシテ之ニ
加ヘル、併シ今マデノ米ノ供出ニ付テ
運搬ヲ「發動」シテ官僚、或ハ食糧管理
ノ人々ハ、農民ニ取ツテハ不評判ナ存
在デアルカラ、一切手ヲ引イテ賣ツ
テ、所謂其ノ家ノ御飯ノ杓子ヲオ姑サ
ンカラ若イ様ニ渡スト云フヤウナ風
ニ、一ツ米ヲ持ツテ居ル農民自身ニ、
此ノ食糧ノ管理其ノモノヲ凡ニ面ニ
於テ任シタ方ガ、現在ノ食糧危機ヲ乘
切ル一ツノ途ダト思フノデアリマス、
又モ一ツノ飛躍ノ考ヘ方デアリマ
シテ、現在ノ政府ノ方々ハ、ソコマデ
ハ御賛成ヲ得ラレカドウカト思フノ
デアリマスガ、之ヲ念頭ニ置イテ一ツ
モウ少シ「私ハ是モ最善ノ方法ダト
モ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラモウ
米ノ出ルハ、篤農家精農家カラ米ガ
出ルノデアアルカラ、ソレ以外ノ所ハ強
權發動ヲヤラウガ何ヲヤラウガ、農家
ニ米ガナイ、ナイモノハイクラ言ツテ
行ツタトテ駄目デアリマスカラ、此ノ
根本ノ所ニ一ツ「メス」ヲ突込シテ最
ト云フモノヲ、今後ヤツテ戴キタイト
思フノデアリマスガ、モウ一應一ツ御
答辯ヲ願ヒタイ

○石川政府委員 只今ノ御設例ハ御尤
モト思ヒマスガ、先程私ガ申上ゲマシ
タ市町村ノ食糧調整委員會ト云フヤウ
ナモノモ、此ノ構成ハ今青木サノ仰
シヤツタヤウナ、所謂村ノ本當ノ農民
ノ組織ニ依ツテ作ラレタ一ツノ委員會
デアリマシテ、謂ハバ或ル意味ニ於キ
マシテハ、ソレハ農民ノ管理トモ言ヘ
ルト思ヒマス、併シナガラ、何レニ致

シマシテモ農民全體ノ一ツノ管理機構
ヲ作ルト云フコトハ、將來ニ對シテ考
ヘラレカモ知レマセヌガ、現在ニ於
キマシテハ、兎ニ角明日ノモノヲドウ
スルカト云フ差迫ツタ段階ニ迫ハレテ
居ルカラ、現在ノ供出委員會ヲ改組シ
テ、所謂本當ノ農民ノ實情ヲ知ツテ居
ル農民諸君ヲ、此ノ調整委員會ニ入
レテ居ルト云フヤウナ段階ニ立ツテ居
ルデアリマシテ、御趣旨ノ點ハ、斯ウ
云フヤウナ調整委員會ニ於キマシテ、
組織ト運用サヘ宜ケレバ十分送セラレ
ルノデハナカラウカト、斯ウ云フヤウ
ナ氣ガスルノデアリマス

○青木(清)委員 モウ一ツ考ヘラレ
コトハ米ノ價格ノ問題デアリマス、總
テノ農民ノ必需物資、其ノ他凡ニル物
資ノ價格ト、農村ノ生産物資ノ價格ト
ノ間ニ、平衡ヲ失シテ居ルト云フコト
ニ對スル不平等アルト思フ、又精農
家、篤農家ハ供出ヲ完了シテ居ル、供
出ヲ完了シテ尙ホ米ヲ出スト云フ者ニ
對シテハ、多少ノ獎勵金デナク、米一
俵ガ二千六百圓モスルナラバ、少ク
モ一俵千圓位ノ恩ヒ切ツタ獎勵金ヲ出
サレル方ガ、只今申サレルコトガ立
コロニ出來、米ガ得ラレル方法ダト思
フ、私ハ農家ニ米ガアルト云フコトヲ
斷言スル、餘分ニ出セル米ガアルノデ
ヤアリマセヌ、關ノ肥料ガ現在米ト物
交サレルト云フコトハ、百姓ガ米ガ餘
ツテ居ルカラ肥料ト換ヘルノデヤナ
イ、百姓ハ今食フ米、是カラ野良ニ出
テ働ク時腹ガ減ツテフヲ「ニナルケ
レドモ、オ粥ヲ食ベテ我慢シテ明日ノ
増産ニ備ヘテ居ル、ソレ程農民ハ現在
眞面目デアル、純眞デアル、デスカラ
此ノ眞面目、純眞ナ農民ニ酬ニ爲ニ
ハ、些細ナモノヲ見返物資トシテ與ヘ

ルノデナクテ、一層ノコト米一俵千圓
程ノ金ヲ出シテ、是等ノ篤農家カラ買
上ゲル位ノ英斷ガ政府ニアツテ欲シイ
ト思フ、私ハ實際ガ府ルナラバソレ位ノ
コトヲヤラナケレバ效果ガナイト思フ
ノデアリマスガ、此ノ物價ト農村生産
物資トノ均衡ヲ求ル點ニ於テ、農林
當局トシテハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居
ラレカ、御聽キシタイ

○石川政府委員 米價ガ外ノ一般工業
生産品ニ對シテ「バランス」ガ取レテ居
ラスト云フ御話デゴザリマスガ、此ノ
物價ノ點ニ付キマシテハ、一般ノ物價
體制ト併セテ考ヘナケレバナラズ問題
ガ相當澤山アルト思フノデアリマス、
現在石三百圓、是ガ現在ノ他ノ諸物價
ニ比較シテ安イカ高イカト云フ問題ハ
當然出ルト思ヒマスガ、今度物價廳ガ
出來マシテ、ソコデ新シク全體ノ物價
體系ガ作シレルト思ヒマスガ、其ノ際
ニ於テ農産物ノ價格ニ付テモ十分検討
致シタイト考ヘテ居リマス

○青木(清)委員 エライ長イコト質問
致シマシテ洵ニ相濟ミマセヌガ、米ヲ
供出サセルコトニ付テ、今年ノ米ノ問
題ニ付テハ此ノ程度ニ止メテ置キマス
ガ、今度來年ノ問題デアリマス、是
ハ誰シモ言フコトデアリマスガ、強權
發動ガ遲延ギタト云フ問題デアリマ
ス、モウ既ニ今年ノ秋ノ取締ニ付テ
ハ、恐ラク農林省當局トシテハ對策ハ
立ツテイラシヤルト思フノデアリマス
ガ、マダ立ツテ居ラナケレバ去年ト同
ジ失敗ヲ必ズ繰返スモノダト私ハ思
マス、モウ立ツテ居レバソレデ宜
イガ、立タナケレバ今年ハ早急ニ御立
ニナツテ戴キタイ、又來年度ノ供出問
題ニ付テハ、ドウ云フ處置ヲ御執リニ
ナル御決心デアアルカ、其ノ内容ヲ御聽

○石川政府委員 來年ノ、所謂二十一
年度米ニ付キマシテハ今研究中デアリ
マスノデ、此處デ具體的ナ内容ハ申上ゲ
兼ヌマスガ、併シナガラ是ハ時期ガ遅
レナイヤウニ、出來ルダケ早ク發表シ
タイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス
○坂東委員長 一寸御伺ヒマスガ、
此ノ米價ノ問題ハ經濟安定本部デ以テ
十分研究スルデセウ
○石川政府委員 經濟安定本部ト今度
物價廳ガ出來マシタカラ、ソコデ……
○坂東委員長 經濟安定本部ハドウデ
スカ
○石川政府委員 經濟安定本部デモヤ
リマス

○青木(清)委員 次ニ肥料ノ問題デア
リマスガ、是ハ新聞紙上ニ於テハ、
肥料ノ國家管理ト云フコトニ付テ具體
案ガアルヤウデアリマスガ、是ハ政
府ノ施策ヲ待ツテ居リマス、至急肥
料ニ對スル具體案ヲ御立テテ願ヒタイ
ト思ヒマス、次ニ野菜ノ問題デアリマ
スガ、野菜ガ再統制ニナリマシタ爲
ニ、野菜ガ出廻ラヌト云フヤウナ問題
ガアル、又馬鈴薯ノ問題ニ付テモ、
私ハ福井縣デアリマスガ、福井縣ノ農
民ハ一畝目十五圓ヲ要求シテ居リマス
ガ、縣廳ハ七圓ト云フコトデ押付ケ
タ、所ガ其ノ後新潟縣ノ新聞ヲ見マス
ト、其ノ新潟縣ノ新聞デハ新潟ノ馬鈴
薯ノ生産費ガ八圓四十何錢ト云フヤウ
ナコトデ出テ居ルノデアリマス、ドウ
モ現在ノ政府ノ物價ト云フモノガ、ヤ
ハリ蔬菜ノ面ニ於キマシテモ、統制ト
云フコトハ或ハ宜イカモ知レマセヌ、
併シ統制ニ依ル價格ノ指示ガ誤ツテ居
ル場合ニハ統制ガ失敗スルト云フヤウ
ナコトガ起ル、是ハ統制サレテ却テ惡

イ現象ニナツテ居ルノデハナイカト思
フノデスカ、今後ノ見透シニ確信ガア
リマスカドウデスカ、御聽キシタイト
思ヒマス、尙ホ特ニ農村ノ我々ガ都會
ニ參ツテ痛切ニ感ジマスコトハ、都市
ノ自給菜園ガナツテ居ナイト云フコト
デアリマス、之ニ對シテ指導ノ方法ハ
ドウデアアルカ、又色々作物ヲ植エテ居
ルガ、草だらけデアル、或ハ東京市內
デモマダ耕ヤシテ植エタル餘地ガ隨分
アルト思ヒマス、非常ニ多クノ自給菜園
ヲ作り得ル可能性ガアルト思フノデア
リマスガ、農村ノ者ガ一番コ、ニ都會
人ニ對スル不信用ト申シマスガ、敵氣
心ト申シマスガ、ソレヲ起シテ居ル、
街ノ人ハ働カズニ自分ガ食フコトバカ
リ考ヘテ居ル、我々ハ一生懸命汗水垂
ラシテ、朝早クカラ夜遅クマデ働イテ
居ル、サウシテ得タモノヲ、統制ノ名
目ノ下ニ安イ價格ヲ以テ街ノ者ニ食ハ
セル理由ハ全然ナイ、其ノ理由ハ街ノ
菜園ハアノ通り草林ニナツテ居ルデヤ
ナイカ、遊ンデ居ルノニアノ菜園ノ草
位撿ツタツテ宜イデヤナイカ、又澤
山農耕適地ガアルデハナイカ、勿論農
災地デアアルカラ石モアレバ瓦モアル、
併シ之ヲ除去スルダケノ人手ハ必ズ都
會ニアル、都會ノ人ハゴロノ遊ンデ
居ルデヤナイカ、殊ニ燒土ハ肥料分ガ
百「パーセント」アル、此ノ燒土ヲ利用
スルコトニ依ツテ、蔬菜ト云フモノハ
必ズ能ク豊ツテ來ルダラウト云フヤウ
ナコトヲ、我々百姓ノ者ハ考ヘルノデ
アリマスガ、此ノ點都會ノ者ニ對シ
テ、自給菜園ヲ活用スルコトニ付テ、
政府トシテハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ
イラシヤルカ
○石川政府委員 野菜ノヤウナモノノ
統制ニ付キマシテ、將來ヤツテ行ケル

見透シガアルカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、蔬菜及ビ魚ニ付キマシテハ、中々ハ是ハ出荷地方ガ多イノト、ソレカラ出荷ノ組織其ノ他ガ複雑デアリマスノデ、思フヤウニキチントハ行カヌノデアリマスガ、併シナガラ昨年ノ暮カラ今年ノ初メニ掛ケマシテ、統制ヲ外シマシタ結果ニ依リマス、ト、アノ當時ノ豫想デハ、誰シモ統制ヲ外セバ物ガウント安クナツテ澤山出ルノダ、統制ヲ外シタナラバ一時ハ物ガ高イカモ知レヌガ物ガ澤山出ル、需要供給ノ關係デ物ガ安クナルト信ジテ居ッタノデアリマス、所ガ蓋ヲ開ケテ見ルト、月日ガ経ツニ從ツテ段々ト騰貴シテ來ル、隨ヒマシデ實ニ得ル者ハ買フガ、買ヒ得ナイ者ハチツトモ買ヘナイト云フ極メテ不公平ノ結果ニ陥リマシタ經驗ニ鑑ミマシテ、再統制ヲヤツタノデアリマス、隨ヒマシテ統制ノ方法ニ付キマシテハ十分注意致シマシテ、少クモ消費者、或ハ生産者ニ迷惑ニナラヌヤウナ方法ヲヤツテ行クコトヲ念願シテ居リマスガ、今ノ所統制ハ撤廢スルト云フコトハ、考ヘテ居リマセヌシ、之ニ依ツテ飽クマデ或ル程度ノ需給ノ「バランス」ハ圖ツテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

問題ニ付テ御質疑ヲ申上ゲマシタ所ガ、此ノ委員會ニ於ケル大藏大臣ノ御答辯ハ、私ハ満足スベキモノデアッタト思フノデアリマス、併シナガラ他ノ場所ニ於ケル大藏大臣ノ説明ハ、極メテ満足シ得ナイコトガ新聞紙ノ報道ニ依ツテ明カニナツテ居ルノデアリマシテ、私ハ此ノ點ニ付テ政府委員ノ御答辯、場合ニ依ツタラ大藏大臣自身ノ御答辯ヲ得タイト考ヘルノデアリマス、是ハ新聞ノ報道デアリマシテ、私ハ其ノ時ノ狀況ガ果シテドウ云フモノガアツタカ分ラナイノデアリマスケレドモ、貴族院ニ於ケル説明ニ於テ、農民ニ對スル課税ハ、供出ノ部分ニ對シテハ供出ノ數字ヲ以テ課税シタノダ、未供出ノ部分、即チ一段歩當リドレダケノ收獲ガアルト云フコトヲ稅務署トシテ認定シタ場合ニ、未供出ノ部分ニ對シテハ、特殊ノ値段ヲ以テ算定シテ居ルト云フヤウナコトガ新聞紙ニ出テ居ルノデアリマスガ、果シテ斯ウ云フコトヲ大藏大臣ガ本氣ニ御説明ニナツテ居ルノカドウカ、大藏省トシテハドウ云フ方針ヲ以テ農民ニ課税ヲヤツテ居ルノデアルカ、モウ一應詳シク御説明ヲ得タイ

○野田政府委員 只今ノ問題ハ主税局ノ關係デゴザイマスノデ、別ノ機會ニ主税局長又ハ大藏大臣ガ御説明申上ゲマス

○青木(清)委員 ソレデハ此ノ問題ニ付テハ改メテ御答辯ヲ得タイ、若シサウ云フ御説明ガ眞デアリマシナラバ、玆ニ色々問題ガ出テ來ル、即チ殊ニ是ハ對象トナルノハ、蔬菜ノ問題ナドガ農家トシテ對象ニナルノデアリマシテ、家族ノ數ニ依ツテ、段別ハ澤山持ツテ居ツテモソレヲ家ノ者ガ食ベシテマツト云フヤウナ問題ガ起ルノデアリマス、又轉落農家ハソレダゲノ收穫ヲ擧ゲ得ナイ、殊ニ蔬菜ノ問題ナドニ付テハ、榮シ葉位ナラバ或ル程度穫レルカモ知レマセヌガ、其ノ他ノ問題ニ付テハ是ガ耕作ノ如何ニ依ツテ收穫ニ非常ニ差ガアルノデアリマス、隨テ供出ト云フコトニ付テハ、中々思フヤウニ參ラス、又米ノ問題ニ付テモ同様デアリマス、現在米ヲ完納シナイ農家ガ、必ズシモ是ガ不精農トハ言ハレナイ、勿論其ノ中ニ先刻申上ゲマシタヤウニ惜農ト云フ方法ヲ以テヤツテモ隣ノ人ノヤウニ澤山ノ段當リノ、オ米ガ穫レナイト云フヤウナ、轉落農家ガアルノデアリマス、此ノ轉落農家モ、家族ノ多い農家モ、一齊ニ全部不正農家ト見ラレルト云フ所ニ私ハ異議ガアルノデアリマシテ、此ノ點ドウゾ大藏省當局ノ課税方針ニ對スル明快ナル御答辯ヲ、適當ナ時機ニ御願ヒシタイト思ヒマス

○坂東委員 太田君

○太田(秋)委員 私ハ今議題ニナツテ居ル本案ニ對シマシテ、簡單ニ御尋ネシタイノデアリマス、政府ノ出資特別會計法ガ實施サレテ以來、現在ニ至ルマデノ間ニ於ケマシテハ、相當政府ノ出資ニ關スル資金ハ應大ナル金額ニ達シテ居ルト思フノデアリマス、就中是等ニ依リマシテ政府ノ投資シタル金額ハ、内地外地ヲ問ハズ、ソレレノ事業會社ニ對シテ出資サレテ居ルト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ金ノ回收ハ、敗戦ノ今日不可能ニ陥ツタ金額モ相當額ニ上ルノデハナイカト思ヒマス、此ノ法律ノ廢止ニ伴ヒマシテ今日マデ投資シタ是等ノ金額ノ總額ハ幾ラ、此ノ法律ヲ廢止スルト同時ニ、又

國庫ノ損失ニ期スベキモノガドレダケニナツテ居ルカト云フ點ヲ改メテ御伺ヒシタイノデアリマス

○野田政府委員 只今御尋ネノ第一點、政府ノ投資ガドウ云フ工合ニナツテ居ルカ、其ノ現状デアリマスガ、少シ古イ數字デアリマスケレドモ申上ゲマス、先ツ内地關係ト外地關係ノ概數ヲ申上ゲマス、内地關係ニ於ケマシテハ、政府ガ是ダケノ金ヲ出スト云フ公稱資本金二十二億八千四百萬圓、ソレノ拂込ミニナツテ居ルモノガ十七億四千五百萬圓、ソレカラ外地關係ニ付キマシテハ、公稱資本金ガ十二億四千四百萬圓、拂込ミニ資本金ガ十億八千四百萬圓、斯ウ云フ數字ニナツテ居リマス、大體法人ノ數ニ致シマスト、内地關係ガ四十七、外地關係ガ三十五、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居リマス、ソレカラ次ニ外地投資ハ賠償ニ充當サレルカドウカト云フヤウナ御質問デアリマスガ、外地ニ對スル投資ハ、ソレガ政府ノモノデアリマシテモ、或ハ民間ノモノデアリマシテモ、原則トシテ賠償ニ充當サレルモノト考ヘテ居リマス、又是等ノ資産ガ賠償ニ充當サレタ場合ニ、政府資産ニ付テハ、其ノ儘政府ノ資産ガナクナルト云フ關係デゴザイマスガ、民間ノモノニ對シテハ政府ハドウ云フ處置ヲ執ルカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ軍需補償、其ノ他色々ナ補償ノ問題トモ絡ミ合ツテ居ル問題デアリマシテ、政府ト致シマシテハ、サウ云フ各般ノ政府ノ補償問題ノ一環トシテ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○太田(秋)委員 重ネテ御尋ネ致シマスガ、外地資産ニ對シテ政府補償ヲスルト云フヤウナモノデ、政府ヨリ前渡金ヲ貰ツタリ、前金ヲ貰ツタリシテヤツタ軍需工業會社ガ戰災ニ遭ツタ、所謂戰災補償ガ出來ルト云フヤウナ會社ト違ツテ、海外ニ行ツテ多年經營シタ民間ノ内地資産、所謂臺灣製糖ノ如キモノヲ、軍需工業ト同一視シテ、戰爭ノ賠償金ニ充當シタニモ拘ラズ政府賠償ノ責任ガナイト云フヤウナコトハ、私ハ甚ダ宜シクナイト考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテモ、政府ハヤハリ内地ニ於ケル軍需工業會社ノヤウナモノト同一ニ考ヘラレカドウカ、其ノ點ヲハツキリ御伺ヒ致シマス

○野田政府委員 内地ニ於ケル軍需會社ニ對スル補償ノ取扱ト、斯ウ云フ外地ニ於ケル投資ノ取扱ト全然同一ニスルカドウカト云フヤウナ御質問デゴザイマスガ、此ノ取扱方ニ付テハ、色々ナ點カラ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、外地ニ於ケル投資ト申

シマシタモ、色々ナ種類ノ投資ガアリマシテ、一概ニ皆同ジニ見ルコトガ出来ナイ、大キイモノモアレバ少サイモノモアル、中ニハ非常ニ軍需ノモノガアレバ、平和ノモノモアル、又縣デ行ツタモノモアリマセウシ、自發的ニ民間ガ行ツタモノモアルト云フヤウニ、非常ニ異ツテ居ル、又内地ノ軍需會社ノ方モ千差萬別ニナツテ居リマシテ、是トソレト一體的ニ、皆同ジヤウニヤルト云フヤウナコトニ致シマスカ、或ハソコニ、ソレハノ事情ニ依ツテ差別ヲ付ケテ取扱フコトニ致シマスカ、是等ハ政府トシテハ今後慎重ニ取扱ハナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○太田(秋)委員 次ニ御伺ヒシタイノハ、政府出資特別會計法ニ依リマシテ爲サレマシタ所ノ公債、借入金、其ノ他ノ政府ノ負擔ニ歸スベキ公債利子ノ支拂、是等ノ本法廢止後ノ經理方法ハ、マダ私ハ詳シク調査シテ居リマセウガ、ドウ云フコトニナリマスカ、是ハ御伺ヒシタ方ガ手取早イノデ、此ノ點御伺ヒシタイノデアリマスガ、是等ノ借入金、公債利子ト云フモノハ、一般會計ニ依ツテ處理スルノカ、又他ノ方法ニ依ツテ之ヲ經理スルノカ、此ノ點御伺ヒ致シマス

○野田政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ、一般會計ニ於テ處理致シマス、○太田(秋)委員 更ニ重ネテ御尋ネシマス、從來種々ナ低利資金ト云フヤウナモノヲ、事業團體或ハ公共團體ニ貸與サレテアツタヤウデアリマスガ、最近政府ノ御方針シテハ、是等ノ低利資金ト云フヤウナモノハ、政府自ラ資金ヲ出サナイデ、中央農林金庫ノ方カラ融通スルト云フヤウナ、過般農林大

臣ノ説明モアツタヤウデアリマスガ、斯様ナ關係ニ相成リマシタ場合ニ於キマシテ、從來政府ノ保證ナル特殊會社デアリマシテ、損失補填トカ、或ハ豫算外ノ負擔ノ契約ト云フノハ色々ザイマスガ、斯ウ云フモノ、例ヲ舉ゲレバ東北振興、日本發達會、斯ウ云フヤウナモノニ對シテハ、政府デハドウ云フ扱ヒヲナサルノデアリマスカ、是等ハ政府ノ方針ニ則ツテ、其ノ約束サレタ金額ハ政府負擔トナサル御積リデアルカ、又是等ノ保證ヲ打切ルノデアルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○野田政府委員 低利資金ノ問題デアリマスガ、從來低利資金ハ總テ預金部カラ出テ居ツタ、其ノ低利資金ノ問題デアリマスガ、預金部カラ各種ノ團體、特殊法人ニ對シテ低利資金ヲ供給シテ居ツタノデアリマスガ、最近金融情勢ガ非常ニ逼迫致シマシテ、預金部ハ先ヅ優先的ニ國債ヲ引受ケルト云フ政府ノ方針デアリ、又政府トシテモサウセザルヲ得ナイノデアリマスガ、隨ヒマシテ適當リ預金部ニ若シ資金ガアリマスレバ、公債ノ方ニ專ラ向ケナケレバナラヌト云フ實情デ、隨テ他ノ方面ニ供給スル力ガ非常ニ乏シクナツテ參リマス、隨テ只今デハ農林中金アタリニ比較的ニ農村關係ノ資金ガ集マツテ居リ、サウ云フモノヲ利用シテヤツテ戴ク、斯ウ云フヤウナ方法ニ向ツテ居ルノデアリマス

ソレカラ特殊法人ニ對シテ從來之ヲ財政的ナ觀點カラ、保護スルト云フ意味カラ、色々ナ措置ヲ執ツテ居リマス、御承知ノ配當ノ保證スル、或ハ借入金ヲ致シタ場合ニ、元利ノ支拂保證ヲスル、或ハ其ノ他補給金ヲ與ヘルトカ云フコトヲヤツテ居リマスガ、最近

關係方面ト色々打合セマシテ、向フカラ指令モ參ツテ居リマス、大體適當補給ト云フコトハ禁止サレルコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ近ク又特殊會社ニ對スル配當補給ヲスルコトヲ打切ハルト云フ法律案ヲ議會ニ提出致シマシテ、御審議ヲ願フコトニナルドラウト思ヒマス、大體サウ云フ譯デ、特殊法人ニ對スル色々ナ財政的援助ハ、原則トシテ之ヲ止メルヤウナ方向ニ持ツテ行カザルヲ得ナイヤウナ狀況ニ現在ナツテ居リマス、配當補給ノ外、元利保證、是モ將來ノモノニ付キマシテハ止メザルヲ得ナイト云フ狀態ニナツテ居リマス、低利資金ノ融通ニ付キマシテモ、是ガ若シ財政的援助ト云フ意味ヲ以テマシテ流レ場合ハ、ヤハリ問題ニナルモノト存ジテ居ルノデアリマシタヤウデアリマスガ、從來ノ元利保證ヲシテ居ルモノニ付テ政府ハドウスルノカ、今後元利保證ヲシナイト云フコトハ分リマスガ、從來出シタ社債等ニ付テ、政府ノ元利保證ハドウスルカ、其ノモノニ付テモ政府ハ其ノ義務ヲ免レシマシ、或ハ義務ヲ果サナイト云フ考ヘ方ニ付キマシテハ、是ハ先程一寸申上ゲマシタ各種ノ補償、政府ノ公約ト申シマスガ、色々約束シ、義務ヲ負ウテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ問題處理ハ、他ノモノト均衡ヲ取ツテ措置シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○太田(秋)委員 只今ノ御説明ハ了承致シマシタガ、唯今日マデ政府ノ投資シテ居ル日本發達會社ナドノ株ハ、政府出資ノ株式デアリマシタナラバ、是ハ無論適當スルノデアアルカ、或ハ政府ダカラサウ云フ民間ノ株ノ配當ハサ

レナイノデアアルカ、サウ云フモノニ對シテハドウ云フ方針ヲ執ル積リカ、ソレハ株券ヲ處理シテ、投資其ノモノハ自然ニ委シテ置クノデアリマスガ、從來行ツタ投資ニ對シテノ御處置ヲ御尋ネ致シマス

○野田政府委員 御答ヘ致シマス、既ニ今マデ政府ガ出資シテ居ルモノ、現在株主ニナツテ居ルモノト云フモノニ對シテハドウスル考ヘカト云フ點デアリマスガ、是ハ政府ノ方針ニ致シマシテ、今後サウ云フ株ノ出資ヲ持テ續ケテ行ク必要ガアルト認メラレルモノハ、直チニ之ヲ處分スルコトモ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、色々ナ關係ニ於キマシテ、政府ガ必ズシモ持ツ必要ガナイト云フモノニ付キマシテハ、漸次處分ヲスルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス

○太田(秋)委員 分リマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○青木(清)委員 午前中ノ銀行局長ノ御答辭ヲ御覽ヒ致シマス、ソレハ現在ノ新聞ノ分布狀況如何、政治資金ノ封鎖率如何、サウ云フ二ツノ問題デアリマス

○江澤政府委員 御答ヘ致シマス、新聞ノ分布狀況如何ト云フコトニ付キマシテハ、別ノ機會ニ申上ゲタヤウナコトデゴザイマスガ、尙ほ繰返シ申上ゲマスルト、試ミニ全國銀行ノ封鎖預金カラノ自由支拂、之ヲ内譯テ見マスト、五月中五十二億二千九百萬圓、此ノ中生計費ニ充當スルモノガ十三億八千九百萬圓、二六%、貸金ニ相當スルモノガ二十七億二千七百萬圓、五二%、事業費ニ相當スルモノ、是ハ貸金以外ノモノ、ソレガ四億九千八百萬圓、約一〇%、其ノ他已ムヲ得ザル

出費、是ガ六千萬圓、一%、其ノ以外雜ト云フ部類ニ屬シマスモノガ五億五千三百萬圓、是ガ一〇%、此ノヤウナ徑路ヲ以テ新聞ハ出テ居ル譯デアリマスガ、此ノ新聞ガドウ云フ方面ニ大體滯溜シテ居ルカ、是ハ中々推定困難ナコトデアリマスガ、一應日本銀行ノ調查マシタ數字ヲ基礎ニシマシテ、極ク概略ノ所ヲ申上ゲマスルト、農村漁村、此ノ方面ニ約半分行ツテ居ルト云フコトニナツテ居リマス、數字ニ付テ申上ゲマスルト、五月末現在ノ日銀券發行高三百六十三億、此ノ中金融機關ノ手許ニ滯溜シテ居リマスモノガ二十五億、農村漁村ニ滯溜シテ居リマスモノガ百七十五億、配給機關ニ滯溜シテ居リマスモノガ六十四億、一般消費者ニ滯溜シテ居リマスモノガ五十八億、斯ウ云フ數字ニ一應ハ見テ居リマス、勿論色々ノ推定ガ非常ニ多ク入ツテ居リマスノデ、必ズシモ此ノ儘ト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマスガ、一應ノ徑路トシテ御報告ヲ致シマス、今ノ數字ヲ更ニ詳シク申上ゲマスルト、滯溜ノ最モ多イ部面ヲ順序ニ申上ゲマスト、第一ガ農村漁村、特に都市ノ周邊ノ蔬菜、果樹、斯ウ云フモノヲ栽培シテ居ル農村並ニ漁村、勿論農家ノ中ニハ相當新聞ノ窮乏ナルモアルト思ヒマスガ、概シテ言ヘバ都市周邊ノ農村漁村、斯ウ云フ方面ニ付テハ現金ハ入ルシ、支出ハ大體物交テ間ニ合フト云フヤウナコトデ、相當ナ現金ガ滯溜サレテ居リマス、二番目ニ多イト見ラレマスノガ物品販賣業、配給機關其ノ他各種統制組合、斯ウ云フ方面ニ相當多ク行ツテ居ルノデアリマス、第三ニ多イト見ラレマスノガ各種興行會社、映畫

出費、是ガ六千萬圓、一%、其ノ以外雜ト云フ部類ニ屬シマスモノガ五億五千三百萬圓、是ガ一〇%、此ノヤウナ徑路ヲ以テ新聞ハ出テ居ル譯デアリマスガ、此ノ新聞ガドウ云フ方面ニ大體滯溜シテ居ルカ、是ハ中々推定困難ナコトデアリマスガ、一應日本銀行ノ調查マシタ數字ヲ基礎ニシマシテ、極ク概略ノ所ヲ申上ゲマスルト、農村漁村、此ノ方面ニ約半分行ツテ居ルト云フコトニナツテ居リマス、數字ニ付テ申上ゲマスルト、五月末現在ノ日銀券發行高三百六十三億、此ノ中金融機關ノ手許ニ滯溜シテ居リマスモノガ二十五億、農村漁村ニ滯溜シテ居リマスモノガ百七十五億、配給機關ニ滯溜シテ居リマスモノガ六十四億、一般消費者ニ滯溜シテ居リマスモノガ五十八億、斯ウ云フ數字ニ一應ハ見テ居リマス、勿論色々ノ推定ガ非常ニ多ク入ツテ居リマスノデ、必ズシモ此ノ儘ト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマスガ、一應ノ徑路トシテ御報告ヲ致シマス、今ノ數字ヲ更ニ詳シク申上ゲマスルト、滯溜ノ最モ多イ部面ヲ順序ニ申上ゲマスト、第一ガ農村漁村、特に都市ノ周邊ノ蔬菜、果樹、斯ウ云フモノヲ栽培シテ居ル農村並ニ漁村、勿論農家ノ中ニハ相當新聞ノ窮乏ナルモアルト思ヒマスガ、概シテ言ヘバ都市周邊ノ農村漁村、斯ウ云フ方面ニ付テハ現金ハ入ルシ、支出ハ大體物交テ間ニ合フト云フヤウナコトデ、相當ナ現金ガ滯溜サレテ居リマス、二番目ニ多イト見ラレマスノガ物品販賣業、配給機關其ノ他各種統制組合、斯ウ云フ方面ニ相當多ク行ツテ居ルノデアリマス、第三ニ多イト見ラレマスノガ各種興行會社、映畫

館トカ其ノ他之居トカ、斯ウ云フヤウ
ナモノ及ビ飲食店、斯ウ云フ方面ニ相
當新圖ガ集マツテ居ルノデアリマス、
高級ノ料理屋デハ五十萬圓ノ現金ヲ手
ニ據シテ營業用ノ物資ヲ仕入レル資金
ニシテ居ルヤウナ話モ聞クヤウニ存ジ
テ居リマス、第四番目ニ多イト見ラレ
マスノガ電氣會社、「ガス」會社、電氣
事業、運送業、土建業、主トシテ電氣
會社、特ニ百貨店ヲ兼營シテ居ル電氣
會社等ニ至ツテハ、相當ニ新圖ガ集
ツテ居ルト見ラレテ居リマス、ソレカ
ラ第五番目「ブローカー」、是ハ一般ニ
ハ非常ニ新圖ノ手持ガ多イノデアリ
マスガ、結局生計費トカ資金ノ支拂ヒ
トカ、斯ウ云フヤウナモノガ新圖流出
ノ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス
テ、是ガ生計資金、生活物資ヲ買フ爲
ニ農村ノ奔流シテ居ル、一部ハソレガ
中間ノ販賣機關或ハ統制機關ニ止マツ
テ居リ、生産ノ基礎産業ト云フヤウナ
方面ニハ中々廻ツテ來ナイト云フノガ
實情デアラウト思ヒマス、ソレカラ内
國人、外人、此ノ區別ニ依ツテドウ
カ、斯ウ云フヤウナ御質問モアツタヤ
ウニ聞イテ居リマスルガ、是ハ今ノ所
調査シタ資料ガアリマセヌ、又調査上
非常ニ困難ヲ伴フ場合モアルト考ヘマ
スノデ、又別ノ機會ニ御報告申上ゲテ
イト思ヒマス、ソレカラ政治資金トシ
テ新圖ノ交付ヲ認メテ欲シイト云フヤ
ウナ御話デアリマスガ、各黨ニ對スル
黨費ト致シマシテハ相當程度新圖ヲ認
メテ居リマスノデ、其ノ中カラ政治資
金ト云フヤウナモノハ賄ツテ戴クヤウ
ニシタイト、斯ウ存ジテ居リマス、尙
ホ御質問ガアリマシタナラバ……
○青木(清)委員 サウスルト黨費ト申

シマスノハ、要スルニ政事結社デアレ
バ地方結社デモ宜イ譯ナノデスカ、個
人ノ政治資金ト云フモノハナイ譯ナノ
デスカ、葉書一枚出シテモ今度ハ十五
錢、封書ガ三十錢トナツテ居ル、我々
政治家ハドンナニ少クモ、ヤハリ何千
ト云フ枚數ヲ出ス、隨テ印刷費ト云フ
モノハ高クナル、隨テソレ等ノ出費ガ
ナケレバ自分ノ趣旨ノ徹底ト云フコト
ガ行ハレヌノデアアルガ、政府ハソレヲ
認メタノデアアルカ、モウ一度伺ヒマス
○江澤政府委員 色々御不自由ナ點ハ
アラウト思ヒマスガ、今ノ狀態デハ中
個人ノ政治資金マデ認メルト云フコ
トハ、一寸不可能デハナイカト思ハレ
マス、必要ナ向ハ黨ニ對スル新圖ノ供
給ヲ若干ナリ殖スト云フコトデ、其ノ
方面カラ適當ニ流通ヲシテ使ツテ戴キ
タイト云フ風ニ思ツテ居リマス、地方
結社ニ付キマシテモ、勿論一ツノ政事
結社トシテ運營サレテ居ル場合ニハ、或
程度事業費ト云フヤウナ意味デ御
認メシテ宜イノデヤナイカト思ヒマス
○太田(秋)委員 今ノ黨費ノ問題デ、
關聯シテ居リマスカラ一言伺ハセテ戴
キタイ、私此ノ間進歩黨ノ黨費ヲ納メ
マス爲ニ、封鎖預金引出ノ證明ヲ貰ツ
タノデス、納メタ金額ハ其ノ證明ニ依
リマシテ封鎖預金カラ出セト云フノ
デ、私ノ郷里ハ福島デスカ、福島ノ或
ル取引銀行ニ持ツテ行ツテ話シタ所
ガ、是ハ困ルト云フノデ、幸ヒ日本銀
行ノ支店ガアリマスカラ、日本銀行モ
支居ノ方ニモ何ツテ見タ、所ガドウモ
ソレハ封鎖預金カラ出セナイ、是ハ仙
臺ノ財務監督局ニ何ツテカラニシテ呉
レト云フコトデ今日マデ來テ居ルノデ
アリマス、段々行クト、マダ仙臺カラ
返事ガ來ナイト云フコトデアリマス、

唯銀行方面カラノ通知ニ依リマス、
政黨ヘノ金額ハ宜シイ、封鎖ノ額内デ
ヤツテ宜イト云フコトデアリマスガ、
實際上ノ銀行ノ取扱カラ行クト、早速
ニ吳レナイ爲ニ非常ニ私共ハ困難シ
テ、支拂モツテ行ケナイ狀態ニナツ
テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ
付テ伺ヒタイ
○江澤政府委員 今ノ黨費ノ御話デア
リマスガ、是ハ幣附金ト云フヤウナ名
目ト同一ニ扱ヒマシテ、現在一件五千
圓未滿ノモノ、總額三萬圓ト云フモノ
ニ付キマシテハ、地方ノ財務局ニ全部
許可ノ權限ヲ任セタル譯デアリマ
ス、事實上ハ日銀ノ各支店デ處理出來
ル範圍ニナツテ居リマス、迅速ニサウ
云フモノハ處理シテ居ルト共ハ存ジ
テ居リマス、尙ホ其ノ邊ハ徹底スルヤ
ウニ努力致シタイト思ヒマス、ソレカ
ラ今後ノ方策ト致シマシテハ、サウ云
フ金額ノ制限ヲ設ケズ、相當大幅ニ地
方財務局ニ金融措置令關聯ノ認許權ヲ
任シテ行ク、特ニ各省ト關聯ノアル
モノトカ、或ハ涉外關係ノモノ、或ハ
特ニ公益ニ要スルモノト云フ特殊ナモ
ノダケヲ本省ノ方ニ持ダスト云フヤウ
ナ方針デアリタイト存ジテ、今手續ヲ
進メテ居リマス、成ベク措置令關聯ニ
付テモ迅速ニ、且ツ實狀ニ應ジタ運用
ヲシタイト思ヒマス、御承諒ヲ願ヒ
マス
○青木(清)委員 是モ午前中ノ續キデ
アリマスガ、生命保險ノ打切りノ問題
ニ付テ御答辯ガアツタノデスカ、政府ト
シテハ打切りノコトハ老ヘテ居リナイ
ト云フヤウナ大體ノ御説明ニ伺ヒマシ
タ、政府トシテハ今簡易生命保險ハ
他ニ付テ打切りノ老ヘナイ、是ハ御
尤モデス、併シナガラ各保險會社ニ於

テ、其ノ經營ガドウシテモ至難デア
ルト云ウヤウナ申合セニ依ツテ打切り、
大體ニ於テ現在ノ生命保險會社ハ、各
社共同デ申合セタラ、人民ノ迷惑位構
ハスト云フヤウナ方面ニ、僕ハ流レテ
居ルノデヤナイカト云フ疑ヒヲ或ル程
度持ツノデアリマス、隨テ、斯ウシ
タ新聞記事モ、サウシタ保險會社ノ重
役連中ガ、自己ノ保身ノ爲ニ出シタ
ツノ手段デアリナイカト私ハ老ヘルノデ
アリマスガ、各保險會社ガ申合セテ斯
ウ云フコトヲ政府當局ニ申出タ場合、
政府當局ハ如何ナル措置ヲ執ラレ
カ、是ハ重大ナル關心事ト存ズルノデ
アリマシテ、午前中ノ御答辯デ宜イト
思ヒマスガ、能ク考ヘテ見ルト、相當
根ヲホジツテ聽イテ見ナケレバナラヌ
ト思ヒマスノデ、モウ一應御答辯ヲ願
ヒマス
○江澤委員 今ノ御質問ニ對シテ御答
ヘ致シマス、新聞ニ色々意見ガ何ダ
カ載ツテ居ルヤウデアリマシテ、ソ
レニ付テ色々御心配ガアルヤウニ拜察
スルノデアリマスガ、現在打切りカ何
トカ云フ問題ハ、政府トシテハ生命保
險ニ付テハ老ヘテ居リマセヌ、ソレデ
何時カモ何處トナク申上ゲタト思ヒマ
スガ、軍需補償其ノ他ノ關係デ、非常
ニ困難ナ狀態ニ立到リマシタ場合ニ於
テハ、少額ノ保險者ニ付キマシ
テハ絕對ニ安全ヲ期スルヤウニ努力シ
タイ、斯ウ存ジテ居ル次第デアリマ
ス、色々ノ流説ガアリマスコトハ、非
常ニ政府トシテハ迷惑ニ存ジテ居リマ
ス、此ノ機會ニ御説明申上ゲテ置キ
マス
○青木(清)委員 是ハ斯ウ云フ原因デ
ハナイカト思ヒマス、各生命保險會社
ガ支拂ヲシタ場合ニ、其ノ會計狀態ガ

危殆ニナル、サウスルト、政府ガソレ
ニ對スル補償ヲ今マデハヤルト云フヤ
ウナコトニナツテ居ルノデヤナイカ、
所ガ政府ノ補償ガナクナルカラ、隨デ
生命保險ノ支拂ガ出來ナイト云フ結論
ニナルノデヤナイカト思フノデスカ、
是ハ私ノ考ヘガ誤ツテ居ルノカ、モウ
一應御答辯ヲ願ヒマス
○江澤政府委員 其ノ邊ハ色々御想像
ガ出來ル譯デスカ、政府トシマシテ
ハ、進ンデ打切りレトカ、或ハ打切り
イト云フコトニ付テ相談ヲ受ケタコト
モアリマセヌシ、其ノ邊ノコトハ、唯
意見トシテ新聞紙ニ現ハレテ居ルト云
フ程度ニ老ヘテ居リマス
○青木(清)委員 財務關係ニ於キマシ
テハ、自然ニ新圖問題ニ觸レルノデア
リマス、又貴族院ニ於キマシテモ、各
場合々々ニ依ツテ取上ゲラレテ居ル間
題デアル、併シ日時ガ推移スルト同時
ニ、社會情勢モ變ツテ行キ、新圖ニ對
スル國民ノ關心、經濟界ノ關心ト云フ
モノモ、其ノ時其ノ時ノ狀態ニ應ジテ
深マツテ行キ、又隨テ新シイ觀點ヨリ
質疑シナケレバナラヌト云フコトニナ
ルノデアリマシテ、再三ノ質問デアツ
テ、非常ニ恐レルノデアリマスケレ
ドモ、現在ノ社會不安ノ狀態カラ考ヘ
テ、一般ニ豫想セラル、コトハ新圖ノ
再封鎖デアリマス、此ノ間大藏大臣ハ
私ノ質問ニ對シテ、再封鎖ト云フコト
ハ絕對ニヤラナイト云フ御説明デアリ
マスケレドモ、現在ノ社會情勢カラ見
テ、殊ニ新圖ガ、是ハ噂カモ知レ
セヌガ、現在六百幾億ノ新圖ノ中、百
六十億圓ガ或ル者ノ手ニ握ラレテ居
ル、又ソレハ百六十億圓デアハナク三百
億圓デアルト云フヤウナ流説ガ行ハレ

テ居ルノデアリマスガ、其ノ真相果シテ如何、又現在ノ新圖ノ分布狀況ニ付テノ銀行局長ノ御説明ニ依リマス、是ハサシテ案ズルニ足ラナイ、ソレハ新圖ノ大部分ガ農漁村ニアル、最モ堅實ナルベキ農漁村ニアルト云フコトナラ結構デアリマス、併シ恐ラク私ハ一應農漁村ニ納マツタ新圖ト云フモノハ、農漁村民ガ元々非常ニオトナシ純情ノ者デアリマスカラ、都會ノ商人、「ブローカー」ノ手ニ依ツテ色々欲シイ物ヲ見セバカサレテ、新圖ハ疾クニ商人ノ手ニ大部分ガ移ツテ居ルノデヤナカト思フ、ソレ等ガ流レテ今或ル者ガ新圖ノ大部分ヲ掌握スルト云フヤウナ現在ノ狀態ニ立到ッタノデハナカ、是ハ臆測デアルカモ知レマセヌガ、一般ニサウ考ヘラレテ居ル、是ハ事實考ヘラレテ居ルノダカラ致シ方アリマセヌ、シテ見ルト、ソコニ政府ガ新シイ手ヲ打タナケレバナラヌト云フ結論ニ到達スル、或ル者ガ新圖ノ取扱ニ付キマシテ色々ナ物實アルコトハ自由デアアル、勿論閣下「ブローカー」ヲヤルト云フコトハ法ニ違反スルノデアアルガ、併シ正當ナル取引ニ依ツテ新圖ヲ得ルコトハ當然デアリマス、併シナガラ是等ノ手ニ新圖ノ大部分ガ握ラレルト、日本ノ經濟機構ノ將來ノ實體ガ誰ニ握ラレカト云フヤウナ重大ナ問題ニ立到ル、隨テ此ノ新圖ノ偏在ニ對スル政府ノ新シイ打ツ手ト云フコトガ問題ニナツテ、隨テ新圖ノ再封鎖ト云フコトガ一般ノ概念トシテ、必然ニ來ルモノガ來ルト云フコトノ豫感ヲ現在持ツテ居ル、サウシテ非常ニ不安ガアル、又特殊預金ノ分ニ付テモ、此ノ間大藏大臣ハ一萬圓ヤ一萬五千圓ノ方ニハ御迷惑ヲ掛ケヌト云フ

ヤウナ御話デアリマシタ、現在モウ既に特殊預金ヲ半分ナラ兩替スル所ガ出來テ居ル、若シ御存ジデナイナラ、私ハ其處ヘ御案内シテモ宜シイ、是ハドウ云フ人ガヤツテ居ルカ、是モ公開ノ席上デハ對外關係ヲ考ヘテ私ハ發表ヲ差控ヘマスガ、サウ云フコトヲヤツテ居ル、特殊預金ハ半額デ替ヘル、封鎖預金ハ七割デ替ヘル、是ハ公然ノ秘密デアアル、其ノ由ツテ來ル原因如何ト云フ問題ガアル、其ノ原因ヲ考ヘテ、ソレニ對シテ政府ノ打ツ手ガ當然私ハ考ヘラレナケレバナラヌト思フ、隨テ是等ノ事情ガ行ハレテ居ルト云フコトハ、日本國民ノ心理狀態ガ、特殊預金ハ半分デモ宜シイト云フコトニ落著イテ居ルノデヤナカ、又封鎖預金ハ七割デ宜シイト云フコトニ落著イテ居ルノデヤナカ、若シサウ云フ方面ニ國民ノ意思ガ落著イテ居ルトスナラバ、私ハアツサリト特殊預金半額、封鎖預金七割ト云フコトヲ、實際ニ政府ガ施策ノ上ニ斷行サレテハドウカ、斯ウ云フ社會不安ト云フモノハ、一日モ忽セニスルコトハ出來ナイ、直チニヤラナケレバナラヌ、各般ノ情勢カラ當然歸納サルベキ結論デアルト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ新圖問題ニ付テ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○江澤政府委員 新圖ノ分布ニ付キマシテ國外ノ者、外國人ガ相當持ツテ居ルノデヤナカ、斯ウ云フヤウナ豫感アルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ一般ニ色々ナ風説ハアリマスガ、ソレ程ノモノデハナイト云フ風ニ私共ノ方デハ見テ居リマスサウ云フヤウナ事情ニ關聯シマシテ、新圖ノ再封鎖如何、斯ウ云フヤウナ御話ガアツタヤウデアリマスガ、之ニ付キマシテハ大藏大臣カラ再三言明致シマシタヤウニ、新圖ノ再封鎖ト云フコトハ更ニ再封鎖ヲ呼ビ、又再封鎖ヲヤルト云フヤウナ非常ナ惡イ結果ヲ及ボス處ガアリマシテ、サウ云フコトデハ此ノ難カシイ時局ハ中々救ヘス、寧ろ封鎖サレテ居ルモノヲ解除シテ、新圖一本ノ經濟ニケルト云フ方向デ施策ヲ講ジテ行カナケレバナラヌト云フ點ニ付テ、各方面トモ政府部内ニ於テハ意見ガ一致シテ居ルト思フノデアリマス、茲ニ改メテ新圖ノ再封鎖ノ如キコトハ、斷ジテ行フ必要モナイ、又行フ意思モナイト云フコトヲ、當局トシテ中上ゲタイト思ヒマス

○青木(清)委員 ソレデハ新圖一本ニ行ク時期ガ何時來ルカ、其時期ノ問題ヲ御尋ネシタイ、尙ホ今ノ御答辯ノ中ニ漏レテ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ新圖ノ偏在ヲ防グ方策如何、之ニ對シテ御答ヘヲ願ヒマス

○江澤政府委員 新圖ノ偏在ヲ防グ、或ハ之ヲ吸收スル策ニ付キマシテハ、是モ大藏大臣カラ度々申上ゲタコトヲ復誦スルヤウナコトニナリマスガ、結局政府ノ信任ヲ回復スルト云フコト、ソレカラ偏在シテ居ル方面、例ヘバ農漁村ノ必要トスルヤウナ物資ヲ都市ニ於テ生産サシテ、之ヲ偏在シテ居ルト稱セラレル農村方面ニ送ツテ新圖ヲ吸收スルト云フコト、更ニ具體的ニ申上ゲマスレバ、地方ノ富饒、斯ウ云フヤウナモノヲ用ヒテ、各地方々々デ其ノ努力ニ依ツテ新圖ヲ吸收シ、其ノ府縣ノ戰災ノ復興ニ充テルト云フ方法モ一案デハナイカト考ヘラレル次第デアリマス、尙ホ極々最近ノ機會ニ新シイ貯蓄制度ト云フヤウナモノモ考ヘテ居リマス、是モ近々實施ノ運ビニ至ルデア

ラウト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ方法ヲ以テ、漸次新圖ヲ必要ナ方面ニ廻シテ行クヤウナコトヲ考ヘテ居リマス

ソレカラ新圖一本デ行ク時期ハ何時カト云フ御尋ネデアリマスガ、是モ度々大藏大臣カラ申上ゲタコトヲ又復誦スルヤウナコトニナルノデアリマスガ、軍需補償其ノ他經濟界全般ノ整理ノ問題ト關聯シテ參ルコトデアリマス、財産稅其ノ他今懸案ニナツテ居リマス大キナ問題ガ處理セラレマシタ曉ニ於キマシテハ、ハツキリシタ時期ニ於テ新圖一本ノ經濟ノ實現サレラデアラウコトヲ期待シテ居ル次第デアリマス

○青木(清)委員 非常ニ長イ間私ノ質問ガ繼續サレタ譯デアリマスガ、各省ニ互ツテノ私ノ本日本ノ質疑ノ内容ハ、ソレヲ一ヒスル所戰爭直後ノ混亂ト、尙ホ其ノ混亂ガ現在ニマデモ及ンデ居ル社會不安、而モ此ノ社會不安ガ決シテ忽セニ出來ナイ、一日モ早ク之ヲ解消スベキデアルト云フ觀點ニ立ツタ質問デアリマシテ、只今ノ新圖一本ニスルト云フ問題ナドニ付テモ、勿論各般ノ情勢ヲ見極メテヤラナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、併シナガラ凡エル施策ト相俟ツテ、勿論ソレハ大藏省デケノ問題デハナクテ、各省ニ互ツタ政治ノ振肅ニ依ツテ政府ノ信用ヲ回復シ、然ル後ニ社會不安ト云フモノガ解消スルモノト私ハ思フ、是ガ一日モ早カラシコトヲ切望スルノデアツテ、政府當局トシテモ、此ノ問題ハ決シテ忽セニシテハナラナイ重大問題デアルト云フコトハ、是ハ勿論認識サレテ居ルデアリマセウガ、ドウモ政府ノヤリ方ハ日ヲ延バスコトバカリヤツテ居ル、勿論關係筋ノ方々トノ諒解事項ト

云フコトモ必要デアリマセウ、併シナガラ是ハ一日モ早ク打タナケレバナラナイ、一日遅ケレバ一日遅イダケ日本ノ大キナ損失デアルト云フコトヲ申上ゲマシテ、私ノ質疑ヲ打切りマス

○坂東委員 皆サニ御相談シマスガ、モウ質疑ノ通告ハナイノデ、大體明日デ質疑ハ打切りニナルヤウニ思ヒマス、サウシマスレバ、明日ハ本筋ノ質疑ヲ具體的ニシテ戴イテ、出來ルナラバ明日質疑ヲ終リタイト思ヒマスガ、如何デスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 今ソレデハ明日ハ午前十時カラ開會致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後三時四十七分散會